

エコアクション21

環境活動レポート

(平成24年4月～平成25年3月)



3年に一度開催される島田大祭 (上：大奴 下左：鹿島踊り 下右：大鳥毛)

平成25年11月

静岡県島田市



目 次

島田市環境方針	2
1 組織の概要	3
環境トピックス①	4
2 実施体制	5
3 環境目標とその実績	6
4 主な環境活動計画の内容及び各課の取組評価	11
(1) 島田市地球温暖化対策実行計画【取組方針・目的】	11
(2) 全組織での主な共通取組	12
(3) 各所属の主な独自取組及び結果（平成 24 年度）	15
(4) 平成 24 年度から平成 25 年度の取組例	26
環境トピックス②	29
5 教育・訓練の実施	30
6 環境関連法規への違反・訴訟等の有無	32
7 環境に関する苦情の受付状況	33
8 代表者による全体の評価	34

島田市環境方針

<基本理念>

島田市は、環境基本条例の基本理念に基づき、全職員が一丸となって全ての行政活動において、地域環境と地球環境の保全と創造のため、率先してその役割を担っていきます。

- ・すべての市民は、人類の存続の基盤である限りある環境が将来にわたって適切に維持され、人と自然とが共生できるような多様な自然環境を、体系的に保全及び創造しなければならない。
- ・すべての市民は、地球環境の保全が自らの課題であることを認識し、環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な社会の構築を目的とした取組を、自主的かつ積極的に行わなければならない。

～「島田市環境基本条例 第3条（基本理念）」より～

<環境方針>

- 1 市民、事業者、行政の協働のもと、島田市環境基本計画に基づいて環境の保全及び創造に配慮した施策と事務事業における取組を推進します。
- 2 重点的に省資源、省エネルギー、廃棄物の減量とリサイクル、環境に配慮した物品の購入に取り組み、地球温暖化対策を推進します。
- 3 これらの取組については、具体的な目標と目標達成期間を定め、定期的に見直すとともに、継続的な改善活動を行います。
- 4 そのため、全職員が参画し環境経営のための組織運営体制を構築し、各自の役割と責任の所在を明確化し、自主的な活動を行います。
- 5 環境関連法令を遵守し環境汚染の予防に努めます。
- 6 環境方針及び環境経営システムに基づく活動の結果については全職員に周知するとともに、広く市民へも公表し、情報の公開と交流に努めます。

平成 25 年 5 月 29 日

島田市長

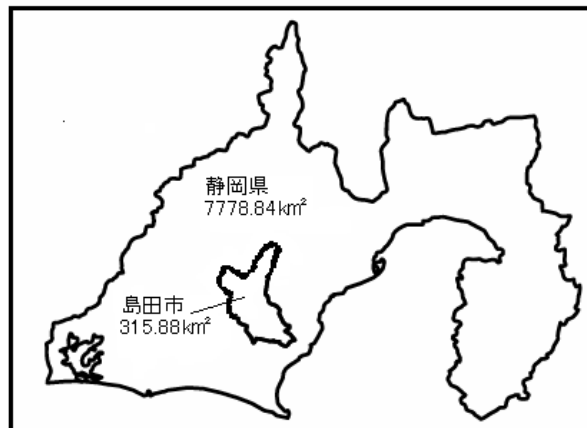
染谷 絹代

1 組織の概要

(1) 市の概要

島田市は、平成17年5月5日に旧島田市と旧金谷町が合併し、平成20年4月1日には大井川の上流に接する榛原郡川根町と合併し、新「島田市」としてスタートを切りました。

市の面積は315.88km²、人口は約10万1千人となり、大井川流域の中核市として更なる発展を目指しています。



島田市 315.88km²

(2) 市の環境状況

島田市は、静岡県の中央を流れる大井川の中流域に位置し、自然の恵み豊かな都市です。

市では、例年環境課にて「島田市環境報告書」、総務課にて「島田市統計書」、島田消防本部にて「消防年報」を発行しています。市内の河川における水質検査結果などの環境の現状や気象状況など、島田市の環境状況について詳細に報告をしております。島田市のホームページ

(<http://www.city.shimada.shizuoka.jp/index.jsp>) をご覧いただくか、図書館などにも設置しておりますのでご利用下さい。

(3) 自治体名及び所在地

自治体名 島田市

所在地 〒427-8501 静岡県島田市中央町1番の1

(4) 代表者名及び環境管理責任者氏名

代表者名 島田市長 そめや 染谷 きぬよ 絹代

環境管理責任者氏名 島田市生活環境部長 すずき 鈴木 まさゆき 昌之

(5) 担当課

島田市生活環境部環境課環境係

所在地 静岡県島田市伊太7番地

電話 0547-36-7145 (直通)

FAX 0547-34-5501

E-Mail kankyo@city.shimada.shizuoka.jp



市章

SHIMADASHI の「S」の文字をかたどり、東海道の中心から全国に広がる躍動感を表現し、青は大井川を緑はお茶を表し、豊かな自然をイメージしています。

(6) 事業活動の内容

島田市役所における行政事務

(7) 事業の規模（平成 25 年 4 月 1 日現在）

- ①平成 24 年度一般会計当初予算：351 億 9300 万円
- ②職員数（特別職、嘱託職員、臨時職員を含む）：2,046 人
- ③施設：本庁舎、金谷庁舎、旧清掃センター、田代環境プラザ、支所、保健福祉施設、図書館、上下水道施設、博物館、教育部施設及び行政サービスセンター、保育施設、学校、看護学校病院施設、消防施設
（建設部、市民安心課、防災課含む（プラザおおるり内））

(8) 取得の範囲（平成 25 年 4 月 1 日現在）

- ①施設：本庁舎、金谷庁舎、旧清掃センター、田代環境プラザ、支所、保健福祉施設、図書館、上下水道施設、博物館、教育部施設及び行政サービスセンター、保育施設、学校、看護学校
（建設部、市民安心課、防災課含む（プラザおおるり内））
- ②人数：1,193 人

※ 現在、認証・登録の対象範囲以外の組織においても、「島田市地球温暖化対策実行計画（全組織対象）」に基づき適正に活動を行っております。

環境トピックス①

平成 25 年 5 月に石川県七尾市で開催された世界農業遺産（GIAHS）国際会議において、掛川市、牧之原市、菊川市、島田市、川根本町の 4 市 1 町の地域で取り組んでいる茶草場農法が「静岡の茶草場農法」として世界農業遺産に認定されました。



「静岡の茶草場農法」の世界農業遺産認定は、これまで伝統的に受け継がれてきた農法により、茶園周辺の生物多様性も保全されている面において世界的にも珍しい地域であると認められたものです。

今後は、世界農業遺産の認定を受け「茶草場」や「茶草場農法」等についての定義や表記使用等に関する認証基準等の制定を進め、持続可能な農業生産活動の確立と、生物多様性保全への取組を推進していくこととなります。

2 実施体制

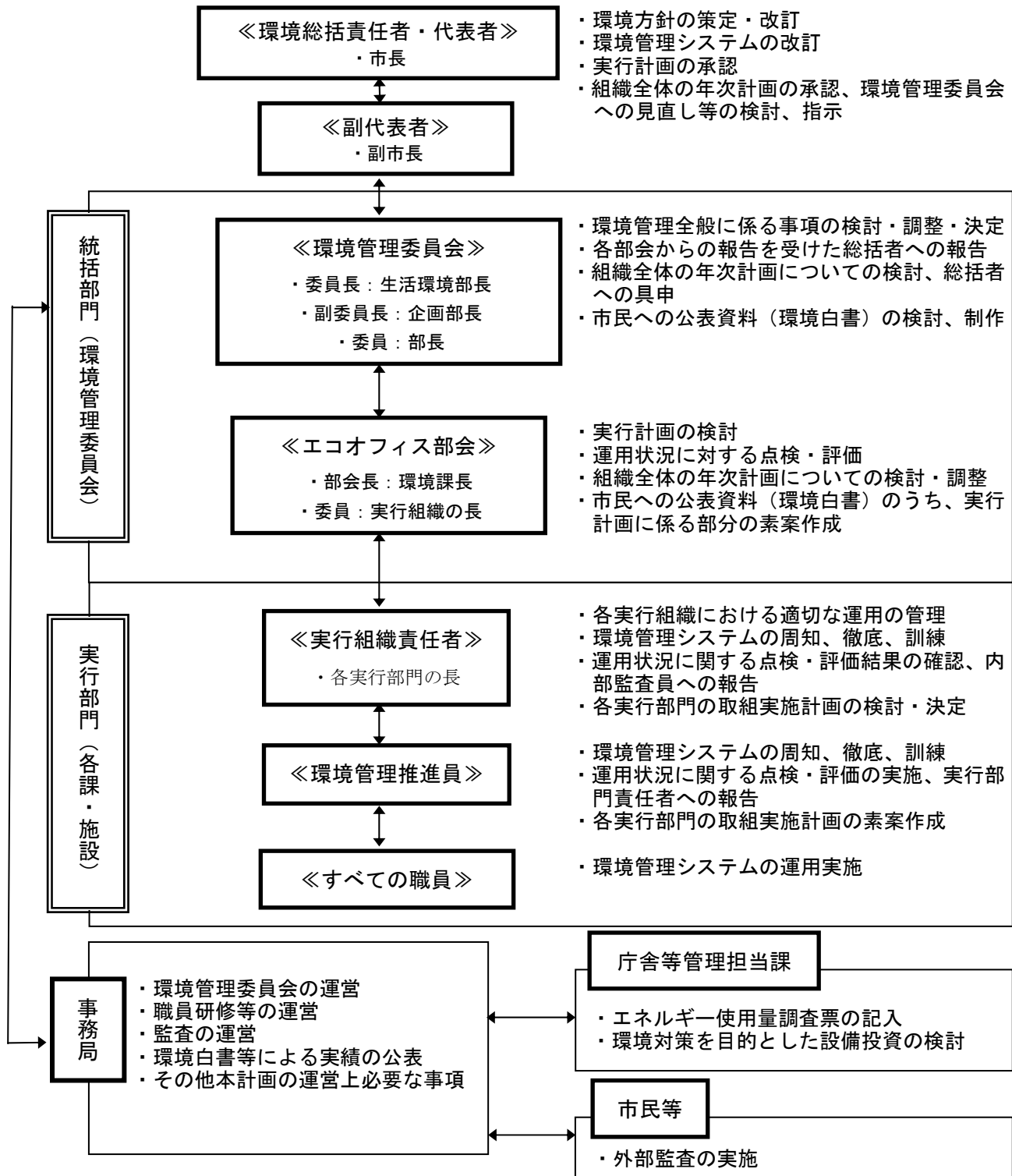
エコアクション21を運用する組織体制は、以下のとおりとします。

環境総括責任者である市長がエコアクション21においては組織の“代表者”となります。

副市長は環境総括責任者を補佐し、組織の“副代表者”となります。

環境管理委員会委員長である生活環境部長が“環境管理責任者”となります。

内部監査の実施のため、監査部門として環境監査員を選任します。



3 環境目標とその実績

「島田市地球温暖化対策実行計画」では、「温室効果ガス排出量を、平成 21 年度を基準として平成 27 年度までに 5%削減する」ことを全体共通目標として取り組んでいます。

○取組方針・環境目標及び実績

項目	基準年 (H21 年度) 《実績値》	目標年 (H27 年度) 《目標値》	目標 増減率	平成 24 年度 実績値	増減率
温室効果ガス総排出量	17,183 t-CO ₂ /年	16,324 t-CO ₂ /年	△5.0%	16,698 t-CO ₂ /年	△2.8%
水使用量	493,229 m ³	468,568 m ³	△5.0%	388,427 m ³	△21.2%
燃えるごみ量	585,565kg	527,009kg	△10%	634,147kg	8.3%
燃えないごみ量	23,765 kg	-	-	18,277kg	△23.1%
電力の使用量	28,730,652kWh	27,294,120kWh	△5.0%	28,939,286kWh	0.7%
A 重油の使用量	1,028,202L	976,792L	△5.0%	955,360 L	△7.1%
灯油の使用量	538,604L	511,674L	△5.0%	485,270 L	△9.9%
LP ガスの使用量	139,127 m ³	132,171 m ³	△5.0%	112,441 m ³	△19.2%
都市ガスの使用量	166,526 m ³	(目標値なし)	-	162,286 m ³	△2.5%
ガソリンの使用量	125,176L	118,918L	△5.0%	131,363 L	4.9%
軽油の使用量	166,477L	158,154L	△5.0%	142,256 L	△14.5%
用紙の使用量(A4 判換算) 【総務課集中管理分】	5,675,908 枚	5,000,000 枚以下	△12.0%	5,579,450 枚	△1.7%

※上記の温室効果ガス総排出量数値（基準値及び目標値）は、それぞれの排出量を二酸化炭素量に換算して算出している。

評価

- 平成 27 年度までに 5%削減(各年度 1%ずつ削減)の目標だが、削減は概ね順調に進んでいる。
- 電力使用量は微増したが、全体の温室効果ガス排出量は削減されている。これは施設燃料（A 重油、灯油、LP ガス、都市ガス）が電力装置に置き換わったためと考えられる。
- ガソリン使用量が増加している。公用車の使用によるものがほとんどであるので、短距離移動での公用自転車の使用や、電気自動車（EV）の導入を進めていく必要がある。
- 燃えるごみの排出量が増加している。ごみの増加は田代環境プラザのエネルギー使用量増加に直結するので、減らしていく必要がある。

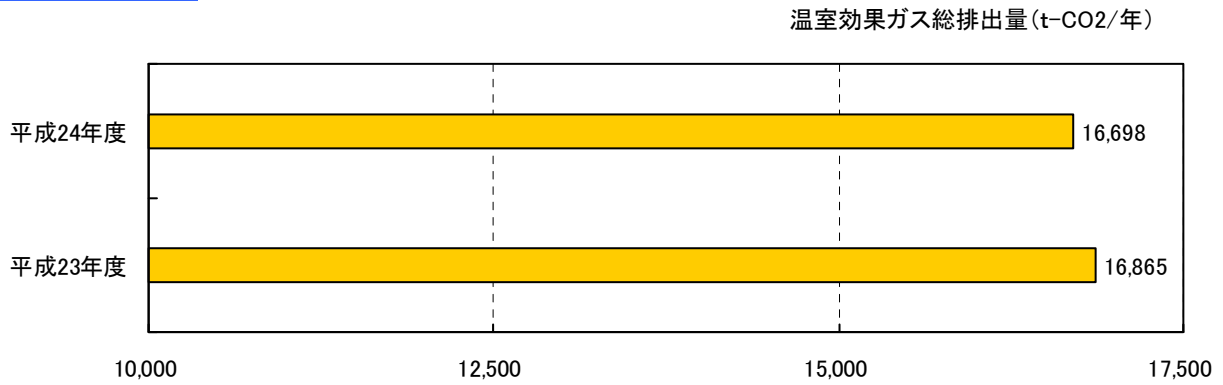
○平成 24 年度実績

平成 23 年度実績と比較した平成 24 年度の実績は下記のとおりです。

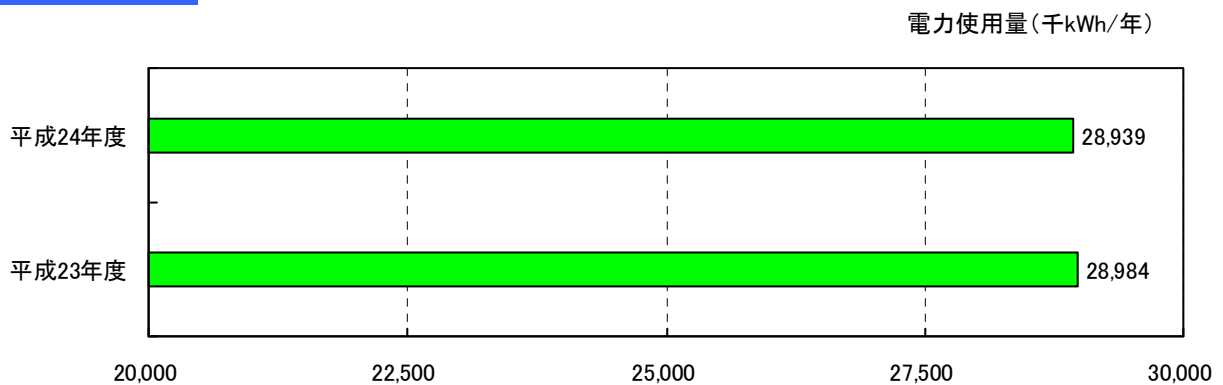
項目	平成 23 年度 実績値	平成 24 年度 実績値	増減率	評価
温室効果ガス総排出量	16,865 t-CO ₂ /年	16,698 t-CO ₂ /年	△1.0%	○
水使用量	398,274 m ³	388,427 m ³	△2.5%	○
燃えるごみ量	605,203kg	634,147kg	4.8%	△
燃えないごみ量	25,633kg	18,277kg	△28.7%	◎
電力の使用量	28,983,797kWh	28,939,286kWh	△0.2%	○
A 重油の使用量	983,448 L	955,360 L	△2.9%	○
灯油の使用量	516,639 L	485,270 L	△6.1%	○
LP ガスの使用量	112,929 m ³	112,441 m ³	△0.004%	○
都市ガスの使用量	157,941 m ³	162,286 m ³	2.8%	△
ガソリンの使用量	133,312 L	131,363 L	△1.5%	○
軽油の使用量	156,615 L	142,256 L	△9.2%	○
用紙の使用量 (A4 判換算) 【総務課集中管理分】	5,493,500 枚	5,579,450 枚	1.6%	△
建設副産物再資源化状況	80% (22,815t)	66% (4,678t)	△14 ポイント	△ 副産物自体が 減少したため
グリーン購入率	96.2%	98.8%	2.7%	○

○項目別の比較

温室効果ガス



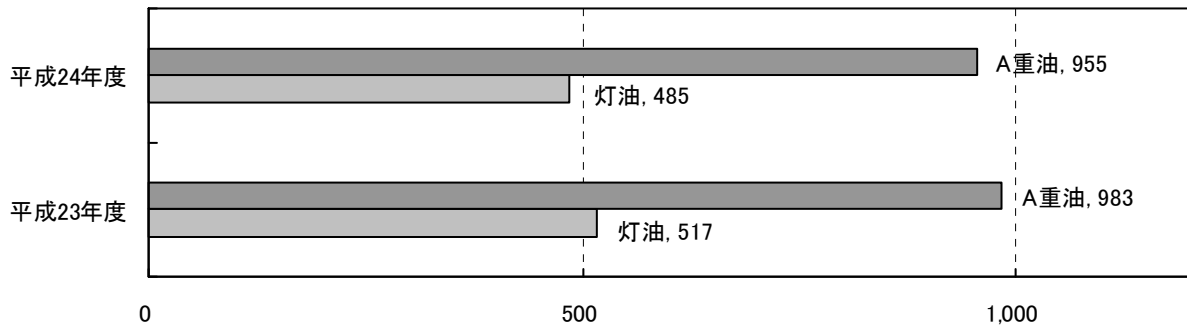
電力



毎年6月から9月にかけて、省エネ・節電を横断幕でPRしています。(環境課)

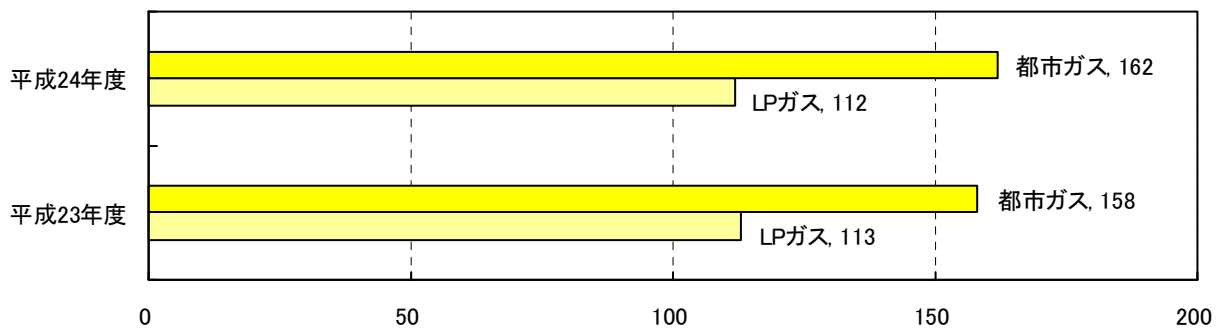
施設燃料(A重油・灯油)

A重油・灯油使用量(キロリットル/年)



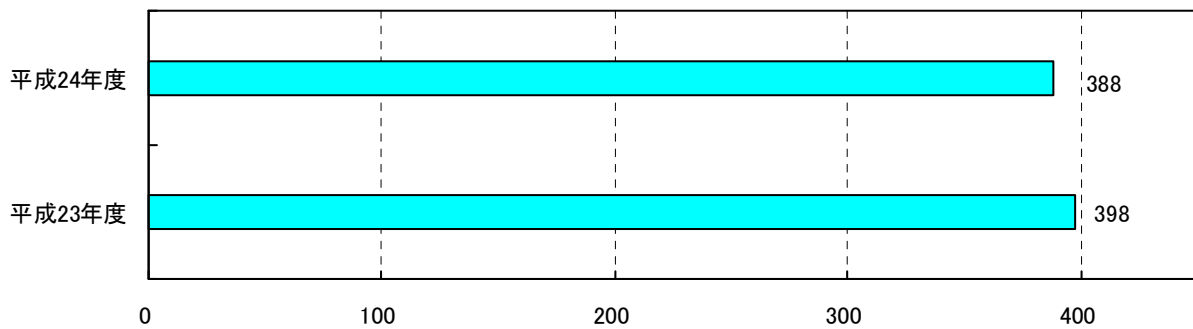
施設燃料(都市ガス・LPガス)

都市ガス・LPガス使用量(千 m^3 /年)



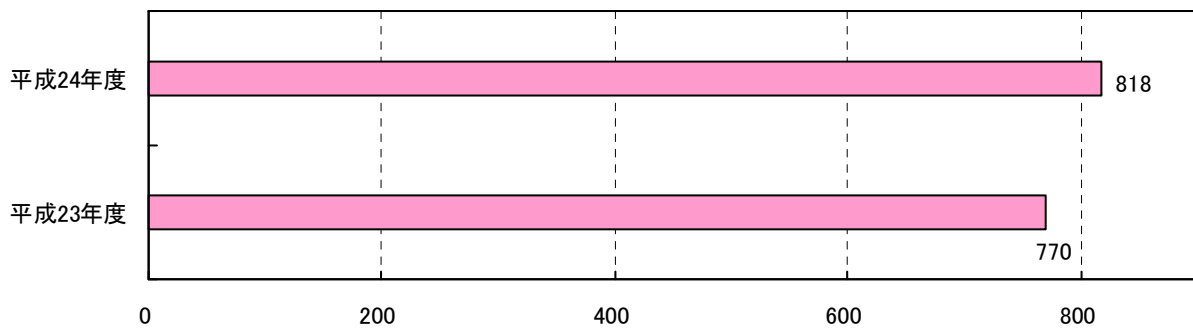
水道水

水使用量(千 m^3 /年)



ごみ

ごみ総排出量(t/年)



○化学物質使用量

化学物質使用量については各部署において各物質毎に管理するため、全体としての目標設定及び評価はしていません。

平成24年度の使用量は次の表のとおりです。

担当課	物質名	年間使用量	単位	処理対象物に対する単位当たり使用量	単位	処理対象物
水道課	次亜塩素酸ナトリウム	25,720	L	5.70	g/m ³	取水
	ポリ塩化ナトリウム	60	L	21.60	g/m ³	
下水道課（浄化センター）	高分子凝集剤	975	kg	0.86	g/m ³	汚水
	消臭剤	2,698	L	2.39	ml/m ³	
	次亜塩素酸ナトリウム	11,052	L	10.68	ml/m ³	
下水道課（クリーンセンター）	苛性ソーダ	132,750	kg	2.84	kg/K L	尿・浄化槽汚泥
	次亜塩素酸ナトリウム	35,370	kg	0.76	kg/K L	
	硫酸	18,070	kg	0.39	kg/K L	
	硫酸バンド	214,320	kg	4.59	kg/K L	
	カチオン	2,325	kg	0.05	kg/K L	
	アニオン	750	kg	0.02	kg/K L	
田代環境プラザ	石灰石	816,187	kg	24.64	kg/t	焼却物
	高反応消石灰	219,889	kg	6.64	kg/t	
	アンモニア水（濃度25%）	54,581	kg	1.65	kg/t	
	キレート	58,935	kg	1.78	kg/t	
	液体窒素	9,832	kg	0.30	kg/t	
	塩酸（濃度35%）	6,636	kg	0.20	kg/t	
	苛性ソーダ（NaOH）（濃度	15,323	kg	0.46	kg/t	
	精製無水 亜硫酸ソーダ（NaHSO ₃ ）	50	kg	0.00	kg/t	
	脱酸剤（クリディライトH-606）	100	kg	0.00	kg/t	
	清缶剤（カルゲンL-327）	760	kg	0.02	kg/t	
	スケール・スライム防止剤（サンククリーンM）	1,520	kg	0.05	kg/t	
	水砕水分散剤（クリフロードD-603）	40	kg	0.00	kg/t	

○PCB保有状況

当市が保有する高濃度PCBについての処理計画は次の表のとおりです。

担当課	品目	数量（台）	管理状況	使用・保管場所	処理予定年度
土地開発公社事務局	コンデンサ類	1	処理済み		H24
管財課	コンデンサ類	5	保管中	本庁舎地階 管財課地下倉庫内	H25
水道課	コンデンサ類	2	保管中	稲荷浄水場電気室	H26
教育総務課	コンデンサ類	1	保管中	島田第二中学校電気設備キューピクル内	H26
文化課	コンデンサ類	1	保管中	島田市民会館	H26

4. 主な環境活動計画の内容及び各課の取組評価

(1) 島田市地球温暖化対策実行計画【取組方針・目的】

島田市では、「島田市地球温暖化対策実行計画」において、温室効果ガスの排出削減及びその他の環境問題の改善に寄与し、かつ事務・事業活動と身近に関わる個別の事項について、以下の通り8つの「取組方針」を定め、取り組んできました。

この取組方針は「エコアクション21」の取組においても同様とします。

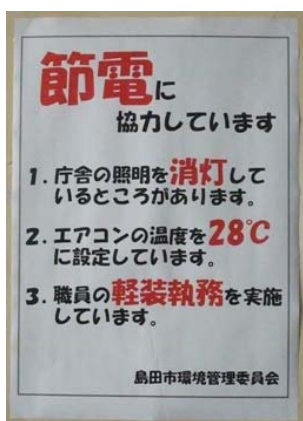
取組方針	方針の目的
①施設におけるエネルギーの有効利用	◎エネルギー使用量の抑制（省エネ）や新エネルギー利用の推進等により、温室効果ガス排出量の削減を図る。 ○併せて、資源の有効利用等に寄与する。
②自動車におけるエネルギーの有効利用	◎公用車及び自家用車（通勤時）の使用抑制、クリーンエネルギー自動車の導入等により、温室効果ガス排出量の削減を図る。 ○併せて、自動車公害の改善、資源の有効利用等に寄与する。
③水の有効利用と健全な水循環の形成	○日常的な節水行動、節水設備の設置等により、水を有効に利用する。 ○適正な排水の実施等により、外部への環境影響を抑制する。
④事務用品等の購入・使用における環境配慮	○環境負荷の少ない事務物品等を適正な量だけ購入する（グリーン購入）ことにより、資源の有効利用等を図る。
⑤廃棄物の減量化・リサイクルの推進	○ごみの発生抑制、リユース・リサイクル、適正処理を推進することにより、資源の有効利用や外部への環境負荷排出削減を図る。
⑥化学物質の適正管理	○代替フロン封入機器を適正に管理することにより、温室効果ガス排出量の削減を図る。 ○特定フロン封入機器を適正に管理することにより、オゾン層破壊の防止に寄与する。 ○その他の化学物質を適正に管理することにより、外部への環境影響を抑制する。
⑦公共工事に伴う環境負荷の低減	◎建設機械の効率的な利用、省エネ型建設機械の導入等により、温室効果ガス排出量の削減及び公害の抑制を図る。 ○騒音・振動対策、廃水適正処理、ばい塵飛散防止等を推進することにより、公害の抑制や外部への環境負荷排出削減を図る。 ○建設廃材の再資源化と適正処理の推進、リサイクル資材の利用推進等により、資源の有効利用や外部への環境負荷排出削減を図る。 ○工事に伴う自然環境の改変抑制、やむを得ず改変した場合の回復・代償等の措置、多自然型工法の採用等を推進することにより、地域の自然環境や景観の保全を図る。
⑧環境に関する法令等の遵守	○環境に係る法令、協定等を遵守することにより、各種環境負荷の低減を図る。

※表中の「◎」は、温室効果ガス排出量の削減に直接関わる取組項目

(2) 全組織での主な共通取組

「島田市地球温暖化対策実行計画」の「取組方針」に基づき、全組織での共通取組として、庁内各課（実行組織）で次の取組を実施しています。

取組方針		
共通取組項目	実施単位	
① 施設におけるエネルギーの有効利用	施設	各課
昼休み中の消灯を徹底する。		●
照明器具の蛍光管や反射傘の清掃に努める。		●
OA機器の電源は、業務終了次第切る。		●
冷房温度は28℃、暖房温度は20℃とする。	●	●
燃焼設備の更新にあたっては、環境負荷が少なく、エネルギー効率の良い設備を導入する。	●	
蛍光灯の更新にはインバータ照明を計画的に導入する。	●	
誘導灯や廊下の照明は、消防法や照度基準をクリアする程度に蛍光灯を減らす。	●	
休日はエレベーター電源を落とす。	●	
ガス、電気の漏洩チェックを定期的に行う。	●	
ガス、電気の漏洩を容易に発見できるピット式の配管配線を可能な限り施す。	●	
太陽光発電、排熱利用等の新エネルギー・省エネルギーシステムを導入する。	●	



節電の取組を周知し来庁者に協力を呼び掛けています。



扇風機を併用し、エアコン効率を上げています。



グリーンカーテンを設置し、エアコン効率を上げています。(各支所)。



蛍光灯を間引きしています。



印刷室などの共用スペースは、節電対策として、昼休み・定時以降に電源を切っています。



中庭上部や窓に寒冷紗の日よけを設置し、エアコン効率を上げています。(本庁舎)

② 自動車におけるエネルギーの有効利用		施設	各課
施設周辺への所用には自転車等を使用する。			●
通勤距離が2km未満の通勤者は、原則として自転車又は徒歩とする。			●
県庁等、JR駅周辺施設への出張には電車を使用する。			●
急発進、急加速、不要なアイドリングはしない。			●
経済速度(一般道 40 km/h、高速道 80 km/h)で走行する。			●
タイヤの空気圧を給油時にチェックする。			●
市街地で使用する車については、低公害車を可能な限り導入する。	●		
③ 水の有効利用			
来客用の給湯などを減らし、食器洗いの量を減らす。			●
朝の机拭きなどはポット湯の残りを利用する。			●
水の漏洩チェックを定期的に行う。	●		
水の漏洩を容易に発見できるピット式の配管配線を可能な限り施す。	●		
雨水利用設備を可能な限り導入する。	●		
浸透枡等の水浸透施設を可能な限り設置する。	●		



自転車置場屋根の雨水タンクを増設し、グリーンカーテン育成に使用するとともに、節電をPRしています。(川根支所)



地下水涵養のために、窓口において雨水浸透ますの設置を推進しています。(都市計画課)

④ 事務用品の購入・使用における環境配慮		施設	各課
昼食時、弁当ガラのようごみの出やすいものは避ける。			●
割り箸、紙コップなど使い捨て品は避ける。			●
エコマークやグリーンマークのついた製品を購入する。	●		●
詰め替え等により繰り返し利用が可能な製品を購入する。	●		●
リサイクル素材を使用した製品や、リサイクルしやすい設計の製品を購入する。	●		●
⑤ 廃棄物の減量化・リサイクルの推進			
封筒は使用済みの封筒に宛先を貼っただけのリユース封筒を使用する。			●
統一した「庁内送付票」「県庁行送付票」の様式を作成し、使用する。			●
裏紙が使えるものは使用済み古紙と区別し、リユースしやすくする。			●
ファイリングシステムを遵守する。			●
会議用資料の作成は最小限とし、事前配布資料等はその持参を義務付ける。			●
分別ルールを守る。			●
両面コピーを徹底する。			●
裏紙を再利用する。			●
自転車等(不用自転車のリユース)を配置する。	●		

＜ノーカーデーの取組結果＞

中部5市（静岡市、焼津市、藤枝市、島田市、牧之原市）で統一して、毎月第3金曜日を「ノーカーデー」と定めています。普段、自動車・二輪車で通勤している職員を対象として、二酸化炭素排出量がより少ない方法を選択し、二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいます。

（平成24年度実績）

組織名	対象者数 (人/月)	実施者数 (人/月)	実施率	二酸化炭素削減量 【片道のみ】(kg)
企画部	21	17	81.6%	256.66
総務部	44	32	72.4%	479.36
市民福祉部	229	87	38.0%	1329.12
生活環境部	104	56	54.1%	846.64
スポーツ・経済部	36	23	63.3%	563.39
建設部	67	54	82.7%	894.26
支所	24	19	77.1%	348.84
病院事務部	42	24	56.6%	306.47
看護専門学校	13	4	28.7%	81.71
教育部	132	43	32.3%	518.44
消防本部	101	19	19.4%	304.83
出納室	6	4	74.6%	49.81
監査委員事務局	1	1	66.7%	10.09
議会事務局	3	3	100.0%	55.68
合計	821	386	47.0%	6045.29

※ 実施者及び対象者数は月平均であり、四捨五入しているため、実施率とは一致しない。

結果

二酸化炭素削減量（片道） 6045.29kg ➡ 2ℓペットボトル換算で1,620,138本分
杉の木（50年生）の年間二酸化炭素吸収量に換算すると432本分

評価

年間実施率は昨年度と比較して5.7ポイント上昇した。また、12月には初めて実施率50%超を達成した。今後も実施率を向上させていきたい。

平成23年度からは、第3金曜日が属する1週間を実施週間と定め、第3金曜日に休暇などの理由で取り組めない場合は他の曜日でもよいこととし、取組機会を増やしている。



島田市コミュニティバス

(3) 各所属の主な独自取組及び結果(平成24年度)

所属名	内容(項目)/目的・目標	進行状況及び評価				環境管理委員または実行組織責任者の評価	問題点・是正措置
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
【企画部】							
秘書課	会議資料の見直しや裏面利用等により、コピー用紙の使用量を削減する。/昨年度の実績に対し2%削減。	目標(昨年度98%)53,891枚 実績 80,940枚 増減 +27,049枚 湖州市受入やり市派遣等の新規事業により大幅な増加となった。	目標(昨年度98%)22,679枚 実績 21,919枚 増減 △760枚 些少であるが、目標を上回った。	目標(昨年度98%)30,353枚 実績 27,216枚 増減 △3,137枚 10月は大幅に増加したがその後は節約することができた。	目標(昨年度98%)35,724枚 実績 16,882枚 増減 △18,842枚 事業内容の相違もあり大幅な減となった。	予備のコピーを極力減らすなど、環境負荷軽減のため、使用枚数の削減にこれまで以上に取組んでいきたい。	結果的に年間146,957枚となり昨年より少し増加してしまっただけで、今後も課員全員の意識を高めていく。
広報課	一般廃棄物のうち、燃えるごみを削減する。/広報課としての排出量を、昨年度の情報政策係実績の3割減とする。	目標を達成している。 ※情報政策係が他の部署と同フロアとなり、意識が向上したと見られる。	目標を達成している。	11月のみ目標値をオーバーしている。	2月のみ目標をオーバーしている。 ※2月から情報政策係が、2階フロアへ移転した。	年間排出量としては、前年比3割減の目標を達成できているので、今後も続けていきたい。	月単位では達成できなかったところもあるため、気を付けていきたい。
企画調整課	執務室で排出する一般廃棄物(燃えるごみ)の削減。/昨年排出した年83kg(企画課時の半分)の3割を削減する。	第1四半期は注意喚起したため、計画以上に削減できた。	7月が前年度と比較して増加しているが、3ヶ月トータルとしては目標を達成できた。	SLフェスタと年末片付けに伴い、古紙が増加。裏紙印刷の意識は高まり、裏紙の使用増。	各月とも前年度と比較して増加した。 再資源化への意識の低下によるもので、注意喚起が必要である。	目標達成のため、引き続き、職員意識の高揚に努める必要がある。	一般廃棄物の状況を確認すると、再資源化可能なもの、トレイなどが増えているので、注意喚起だけでなく、再資源化の徹底を促す必要がある。
政策推進課	古紙の削減。/裏面未使用の古紙が多いため、その削減を図る。紙の使用量削減、裏紙の利用量増加。昨年度よりマイナス3%の平均55kg/月を目標とする。	課員の意識付けにより、古紙の量を大幅に削減できた。	業務量の増加に伴い、古紙も増加した。裏紙印刷を心がけたい。	SLフェスタと年末片付けに伴い、古紙が増加。裏紙印刷の意識は高まり、裏紙の使用増。	年度末の資料整理に伴い、古紙が増加。普段から紙使用量削減を心がけたい。	紙使用量の削減と再利用により、古紙発生量を目標値の半分以下に抑えることができた。	
財政課	紙の使用量の減量を図る。/各月の前年度使用実績の2%減。	計画を上回る実績となった。引き続き使用量の削減に努める。	前年度を上回る実績となった。課内での用紙削減努力を継続する。(浄書振替通知枚数による評価のため純使用枚数とは異なります。)	左記のとおり	数値目標の達成はできなかったが、課内回覧文書等平易なものは再利用紙を活用するなど、目標達成に向けての意識付けは高まっている。	計画をクリアする月とオーバーする月がある。一層の節減意識の積重ねが必要と反省する。	・文書作成では、出力前に推敲を徹底。 ・事務通知、国県情報等の電子データを出力する場合でも縮小化、両面化を図る。
空港振興課	県庁出張の際の公用車利用の削減。/平成23年度実績の1割削減(17回→15回)。	目標を立ててからは公用車の使用について意識するようになった。	急な出張が入ったため7月は目標が達成できなかった。	11月は補助金のヒアリングにおいて多くの書類を持参する必要があったため、やむなく公用車を使用することになってしまった。	例年に比べて県との協議の回数が少なかったため、目標を達成することができた。	目標の達成を確認した。課員全員の環境に対する意識は高いと判断する。	なし
【総務部】							
総務課	紙媒体による回覧・通知の削減/メール等で收受した文書を課内で供覧する場合に、紙媒体に印刷せず、グループウェアで閲覧する。目標:「データ化された文書を供覧する場合は紙媒体への印刷をすべてとりやめる。	データを5回更新し、9件の文書をグループウェア上で供覧した。当初は紙媒体に印刷してしまう事例もあったが、定着しつつある。	グループウェア上での回覧にも馴れてきており、紙ベースで回覧するものとの使い分けも円滑になってきたと思われる。	データを14回更新し、123件の文書をグループウェア上で供覧した。	データを27回更新し、121件の文書をグループウェア上で供覧した。データでの回覧が定着し、紙の使用量を減らすことができた。	実績が計画を上回り、取組は定着した。今後は打合せなどを利用して口頭で情報を伝えることを第1とし、グループウェアでの確認は最小限とすること。	回覧後も必要な文書は、関係する業務の階層に保存し、ショートカットを添付することとした。
人事課	コピー用紙(浄書印刷用紙)の使用量の削減/昨年度使用量の2%削減を目指す。	計画では1月あたり18,062枚であったが、実績では18,837枚となり昨年度使用量の2%増となってしまった。	計画より実績が上回ってしまったが、昨年度使用量の1%増にとどまり、1四半期より改善が見られた。	11月は昨年度使用量と比較し15.3%削減することができたが、10月は26.8%12月は3.3%の増となつてしまい目標を達成できなかった。	1月の削減量が多く、計画を達成することができた。年間を通して昨年度使用量の0.07%の削減となった。	結果として目標は未達成でしたが、取組みをとおして課員に意識の徹底はできたと考えます。	ある程度紙のエコ使用について定着している中で、目標値が少し高かったかもしれない。
税務課(資産税係)	①土地評価業務委託仕様書に『環境配慮関係』の項目を設け、当該業務委託に係る環境に配慮できる事項を確認する。 ②業務完了時に、効果測定を行う。/土地評価業務委託において、環境に配慮できる事項を確認し、効果測定を行うことで、環境負荷の低減を図る。	4月16日発注の業務委託仕様書に環境配慮関係の項目を新たに追加した。 契約後の5月9日に業務委託に係る事前協議を実施し、環境配慮事項の取組について確認した。	取組のうち地番図は出力せず、システムに直接インストールした。また、作業途中の状況類似地区の見直しについても紙媒体での打ち出しではなく、データのやり取りで実施している。これによりA4用紙で約512枚の削減効果が得られた。(16面×16枚×2回)	取組のうち路線価図について出力せず、PDFファイル形式のデータにより実施した。これによりA4用紙で約512枚の削減効果が得られた。(32面×16枚×1回)	当該四半期では、作業用図面等の作成が行われなかったことから、削減効果として挙げられる項目はなかった。効果測定結果としては、A4用紙で1,024枚の削減効果が得られたとともに、仕様書に環境配慮項目を明記することで、受託者の環境配慮への意識も高まる効果があることを実感できた。	内部の取組にとどまらず受託者にも環境に配慮した業務の執行を依頼している点は、特に評価できる。今後も業務の効率化と環境への負荷を低減できる方法を実施してほしい。	今回は図面等の出力を環境への配慮項目として掲げたが、今後は、受託者が現地調査を行う日にあわせて市との打合せを行うなど、業務の効率化を図りながら、環境への負荷を低減できる方法を受託者とともに検討したい。

所属名	内容(項目)/目的・目標	進行状況及び評価				環境管理委員または実行組織責任者の評価	問題点・是正措置
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
税務課(市民税係)	電子申告のさらなる推進/納税者に電子申告制度(e-TAX)を利用してもらうことにより、市民の申告に係る交通燃料費、申告用紙の削減及び紙媒体保管スペースを削減することにより、環境負荷の低減を図る。	確定申告等の終了間際であることから、取り組み事項はなかった。	特別徴収金指定に向けた事業主訪問を実施した。併せて電子申告制度の活用を促した。特別徴収事業主が増加したことから、利用率が減ったため、更なる電子申告制度の利用を促す必要が生じている。	特に取り組み等は実施しなかった。	償却資産は、利用件数は増えているものの、対象者数の増により利用率は減少傾向にある。	電子申告制度は、大きく環境負荷を低減する取組であるが、市民が初めて着手する際のハードルには高いものがある。利用の促進ができる条件整備が必要である。	特徴の全事業所適用などにより、利用率は減少傾向にある。このため、EA21更新審査で審査人から提案のあったように、電子申告のさらなる推進においては、市でも電子申告を体験してもらう説明会を開催し、これを目標として設定する必要がある。
税務課(管理収納係)	『市税のあらまし』をPDFファイルにして配布することにより、紙媒体での配布を削減し、環境負荷の低減を図る。/『市税のあらまし』をPDFファイルにして配布することにより、紙媒体での配布を削減し、環境負荷の低減を図る。	年度後半に実施する事業であるため、取り組み事項はなかった。	冊子で配布している市議会議員事務局に対し、今年度から電子媒体にしていきたい旨の方針を伝えた。また、環境教育に面からも、市内小中学校には電子媒体で送信し、必要に応じて印刷する依頼の方針を決めた。	国、県、市町については、PDF配布を取りやめ、市のホームページにアクセスしてもらうことで、データ媒体での提供を取りやめた。	削減できた冊子数は、51冊で1冊当たり25枚のA4用紙を使用しているため、A4用紙で1,275枚の削減効果が得られた。	管理収納係として実施できる取組が業務の省力化を伴うとき、環境への負荷を大きく低減する。同時に、その趣旨についても、市民等に向かって情報発信することが必要である。	冊子から電子化に対応したデータでの対応ができていない。なお、「市税のあらまし」をいまだ冊子で提供する市町もあることから、島田市では冊子での提供を断るなど、対外的にも環境配慮の行動をアピールしていく必要がある。
管財課	各委託契約約款に環境に配慮する旨の条項を設け、委託業者への実践を促す。/完了報告書内において、どのような点で配慮を行ったか記載させる。	当初契約における約款内に下記独自条項を盛り込み、業者との確認を行った。	清掃においてはコスト面と絡めた実践がされている。警備についても冷房等の使用に関し、適切に履行されている。	定期清掃においては、環境に配慮した洗剤を使用するなどの工夫がされている。警備についてはウォームビス等も考慮し、暖房使用も適切に履行されている。	業務完了報告書とともに、環境配慮報告書が提出され、委託業務の中で、環境に配慮した取組が実施されたことが確認できた。	職員による取組だけでなく、委託業者にも取組を要請し、成果が得られたことは、評価できる。	問題点は特にないが、平成25年度の委託業務についても、継続して実施し、一層の推進を期待したい。
契約検査課	通常、各課において紙により執行されている工事に関しない業務委託の入札を契約検査課で電子入札により執行することで、入札参加者に配布する設計図書等の印刷物の削減を図る。/電子入札執行件数の拡大(10件 昨年度の30%増)	計画どおりに執行されている。	第2四半期の計画が5件に対して実績は8件、合計11件となり、既に今年度の目標は達成した。	第3四半期の計画が2件に対して実績は3件、合計14件となり、既に今年度の目標より4件多く執行している。	第4四半期の計画が0件に対して実績は2件、年度合計16件となり、最終的には前年度より9件多く執行できた。目標の10件執行も達成した。	電子入札の利便性が理解されたことが依頼の増加につながったと思われる。	特になし
【市民福祉部】							
市民課	リサイクル可能紙の分別を徹底し、再利用を促進することで古紙の排出量を削減する。/裏面がリサイクル可能な紙の再利用を推進し、古紙の排出量を前年度比1%削減する。	住基法改正に伴う仮住民票作成作業により、例年にない個人情報書類が大量発生してしまった。通常業務分については、引き続き削減に努めたい。	7月9日に外国人登録法が廃止され、関係書類の大量廃棄を行った。第1四半期同様、通常業務分については、引き続き削減に努めたい。	再利用の促進により、古紙の排出量を抑えることができた。今後も引き続き削減に努めたい。	年度末は、古紙の量が増加したものの、目標値以内の排出量に抑えられた。次年度以降も、削減の努力を継続していきたい。	法改正に伴う例年にない書類が大量に発生したにも関わらず、前年比1割減を達成し、目標値を大きくクリアしたことは十分評価に値すると思います。	
国保年金課	省電力化に努める。/照明等の電源入切をこまめにし、節電に努める。・冷暖房の設定温度を適切にし、節電に努める。	目標設定基準が明確に設定できないため、チェック点検とした。心掛けてはいるが消灯やパソコンの電源OFFが徹底されていない。	節電対策として、窓に遮光部材を付設した。効果が顕著である。暑い日が続き外気の流入で室温が上がり苦慮した。	各自が意識を持って取り組んだ。	各自が意識を持って取り組んだ。	第2四半期、窓に遮光材を付設したことは効果があった。今後も実施可能な対策を積み重ねていく。	
福祉課	申請書の両面印刷の徹底/申請書等両面コピーの徹底 目標値 両面コピーで対応可能な書類で片面コピーとした件数 0件(県進達書類などの対応不可は除く。)	可能な範囲で徹底できている 会議資料を縮小コピーで、使用枚数の削減を図った。	可能な範囲で徹底できている コピー機の故障により、ミスコピーが増えた。	可能な範囲で徹底できている	可能な範囲で徹底できている	取組が課の中で徹底できており、目標が達成できた。削減のための他の工夫もしている。	
児童課	一般廃棄物排出量前年比2%減量する/排出量前年比2%減量、月平均93kg	児童手当現況届の受付期間のため、不要な用紙等が発生し計画に届かなかったが、燃えるごみは減少してきている。	3か月ともに計画値をクリアしている。文書裏面の利用などによりごみの減量が定着してきている。	こども医療費助成の申請方法が変わり申請書の差し替えなどで11月が計画値を倍増してしまっていたが、全体的には意識の高まりがあり3月合計では計画値を達成できた。	3か月ともに計画値をクリアしている。文書裏面の利用などによりごみの減量が定着した。年間を通じても目標値を達成できた。	成果はあったものの、更に努力をしてください。	

所属名	内容(項目)／目的・目標	進行状況及び評価				環境管理委員または実行組織責任者の評価	問題点・是正措置
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
児童課(第一保育園)	節電に心がける(電気の使用量を昨年より控える)。／昨年の使用量を参考にして、年間使用量削減を目標。	4月は、削減できたが5月・6月は節電できなかった。職員に再度協力を求める。	昨年は、自動車業界の電力削減で、日曜日でも保育を実施した為、今年度は削減できていると思う。	10月は、昨年に比べかなり節電できた。11月・12月も少し節電できたので、これからも声をかけていく。	この時期は、寒い事もあり、電気の使用量が増えるかと思っただが、昨年より削減することができ、職員の協力の成果だと思う。	概ね目標を達成することができた。今後も意識づけを継続していただくようお願いしたい。	昨年度は、1年を通じ、5月、6月のみ削減できなかった。今年度は重点的に削減をめざすようにする。
児童課(第三保育園)	年間で排出する燃えるゴミの削減／ゴミの分別を再考し燃えるゴミの量を削減し資源ごみとして出していく。	保護者会園庭整備時の樹木伐採にかかるゴミの増加が影響していると思われる。	<ul style="list-style-type: none"> 大きな行事の前後はゴミが増える。(7月・9月) 燃えるゴミの量は減少につながらないが古紙として排出量は増えている。 一般ゴミが減らない原因を再度職員で考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 給食から出るペーパータオルを乾燥させて古紙として出すようにしたことでも工夫した。 12月は大掃除等で不要な物を廃棄してことでゴミが増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 細かく紙のゴミの分別をして資源ゴミとしての出し方も工夫した。 燃えるゴミは確実に削減できており、10月以降成果がみられている。 燃えるゴミ2234.4Kg +219.4 資源ゴミ543Kg +284 	<ul style="list-style-type: none"> まとめて捨てた紙切れは、ゴミですが古紙に回せば資源ゴミになります。今一度古紙の再認識をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 前期の反省を活かし、後期から少しずつ成果が見られるようになった。 前年度比では増加となったがこの方法を続ければ更に削減できると思う。 着実に資源ゴミは増やすことができた。
児童課(かわね保育園)	ゴミの排出量の削減／毎月のゴミの排出量を10%削減する。	少しずつ職員の意識は高まっていますが、もう少し意識が高まるように啓蒙していく。	行事があるとどうしても、ゴミの量が多くなるので、行事があっても一人一人が意識をもって取り組んで行く。	毎日の、クラスのゴミ箱のゴミの量が、少なくなっている。意識が高まっていると感じる。	まだまだ、意識が薄くなることとゴミの量が増えてくる。一人ひとりの自覚の大切さを感じる。	ゴミ削減の意識を今後も継続していくように職場内の声掛けをお願いします。また、事務作業で発生した紙切れは古紙にまわすなどを検討してください。	職員の分別意識が薄いので、職員会議、朝礼などで共通意識を持たせていく。
児童課(発達支援係)	4～10月：紙類を再利用することで、古紙の減量に努める。11月～：電気使用量の削減。／4～10月：前年度比10%削減する。11月～：前年度比1%削減する。	ファイリングの影響もあり、古紙の排出削減が難しかった。	裏面が利用可能な用紙の分別を徹底した。	内部環境監査での指摘を受け、細かな数値が算出される電気使用量の削減を目標に設定し直した	事務室については、昼休み時の消灯、暖房の温度設定等節電を心がけることができた。しかし、通園児の健康面のため、保育室の暖房節電が難しかった。	前年度の平均使用量を目標と設定し、季節需要の見込みが反映されていなかったため、職員の節電努力にも拘らず、思うような効果が数字上現れなかった要因もあると考える	保育に関わる部分での節電は困難であった。職務に支障のない所で節電方法を、職員同士で検討していきたい。
健康づくり課	健康福祉センターの電気使用量の削減／毎月の電気使用量を1%削減する。	当初は目標をクリアした。今後も節電意識を高めて取り組みたい。	暑い日が続く、エアコンの使用量が増えた。乳幼児の事業があるため室内温度を適温に保つことが必要。	暑い時期を過ぎ、第2四半期に比べ、エアコン使用量が減少し、電気使用量が落ちてきた。	12月から保健センターで集団健診を実施した。今年度は託児サービスを開始し早朝からエアコンを使用したため電気使用量が増えた。	託児サービス開始によるものと考えられる。次年度はこれを考慮した目標設定とすること。なお、執務室の空調やパソコンの電源オフなど各職員が常に節電を意識した具体的な行動を期待する。	夏は猛暑により、冬は健診の実施で前年よりも電力を使用した。節電意識を高め、エアコンの使用を控えることや蛍光灯を間引くなどを実施したい。
長寿介護課	可燃ごみの減量を図る。／紙等の再利用を図り可燃ごみの減量に努め、温室効果ガスの排出量を抑制する。24年度可燃ごみ量を370Kg以下とする。	課員への周知徹底を図ったため、6月は目標を達成することができた。今後も継続し目標値の達成を目指したい。	第2四半期も目標を達成することができた。今後も継続できるように課員への啓発活動を行ってきたい。	第3四半期も目標を達成することができた。第4四半期も目標を達成し年間目標を達成できるようにしたい。	4月当初は年度切り替えに伴いゴミが多く発生したが、ゴミ減量の啓発により目標を達成することができた。目標値より12.6Kg減量ができた。	ごみの搬出量が増加する年度初めを除けば、すべての時期で目標を達成できている。高く評価できるものであり、継続していきたい。	
【生活環境部】							
市民安心課	ゴミの量の削減／毎月のごみの量を1%以上削減する。	5月はGW、6月はファイリングの影響で効果の程度を測りかねる状態である。	10月にイベントを控え、計画との比較・効果の検証が困難ではあるが、次回の根拠は把握できた。	10月～1月のイベントがあるため、実績を抑制することが困難であった。	2月の事務所移転(本庁4階→おおり2階)のため、廃棄したものが多かった。	想定していない事務所移転があり計画を大幅に超えた月があるが、基本的には削減に努めている	執務室移転に関連して廃棄物が急増し、目標に対して15%増となった。日頃から余分な物の削減を図ると共に、リサイクルの意識を徹底する。
市民安心課(市民相談室)	生活用品活用バンクの運営支援／昨年度の成立件数を維持する。	4月から広報誌への掲載場所及び掲載方式が変更されたため、認知されにくくなり成立件数へ影響したようである。	自転車を中心に7月には一度成立件数が改善したものの、譲りますの登録件数が前年度より減少しているため、成立件数に影響している。	当期譲りますの登録件数は前年の半数以下、譲ってくださいも減少しており、広報誌以外による告知も検討していく必要があると考える。	1～2月は計画を大きく下回ったが、年度末に向けて需要が多くなったためか、3月の件数は急増した。	広報誌への掲載方法が大幅に変更されたことから、成立率が前年度を大きく下回る58%となった。複数の媒体を使った広報の検討が必要。	成立件数の低下は、広報掲載方法の変更が主な理由であると思われる。ホームページの活用など、広報媒体やリアルな情報提供など検討していく。
防災課	休憩時間・離席の際はパソコン等の電源をOFFにする。紙使用量の削減をする。／パソコン以外の不使用電気機器の電源も全てOFFにする。	休憩・離席時のパソコン電源OFFは平均8割(11台中9台)程度であった。他機器も含め100%を目指す。	業務上24時間電源を入れておく必要のあるパソコン以外について、さらに不要時の電源OFFを働きかける。	FAX用紙・メモ用紙等、裏面を使用でも問題のないものについてより一層徹底する。	パソコン電源OFFについては、概ね実施できるようになった。パソコン以外の電子機器(無線機等)についても見直しを行い、節電に努めたい。	災害時に備え、常時電源入の機器意外については、引き続きこまめな節電に心掛けること。	用途上、裏面利用に適さないものもあるので、両面印刷等工夫して節約に努める。

所属名	内容(項目)／目的・目標	進行状況及び評価				環境管理委員または実行組織責任者の評価	問題点・是正措置
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
環境課(田代環境プラザ)	電気購入量の削減／平成23年度比1%削減(1,101,000kwh)	目標値(327,000)に対して、28%オーバーしている(419,928)	目標値(214,000)に対して、28%オーバーしている(274,536)	目標値(331,000)に対して、10%下回っている(296,592)	目標値(229,000)に対して、6%オーバーしている(241,920)	目標値の1%削減は、出来なかったが使用量は0.56%の削減が達成されたことから施設としてのCO2の削減はできたと考える。	電気購入量は増となり、目標達成はならなかったが、使用電力量は減となっている。内容は、溶融炉の稼働に大きく左右される為、来年度は、管理部門を対象とした取り組み内容としたい。
環境課(旧清掃センター)	旧清掃センターの電気使用料の削減／毎月の電気使用料を1%削減する。	計画数値より3%以上削減でき、こまめに電源を切る意識を個々に持つことができた	計画数値より3%以上削減できた。特に7月・9月の削減率は著しい。節電の意識効果が現れた。	寒い時期に入り、暖房や電ポットの使用がふえたため、使用料が増えてしまったが、部屋の電気をこまめに消すよう個々にこころがけたい。	こまめに電気を消す効果が現れ、計画数値を大幅に上回ることができた。	目標値の1%以上の電気使用料の削減が達成された引き続き電気使用料の削減に努める。	なし。
水道課	水道課(稲荷浄水場)の電気使用量の削減／毎月の電気使用量を1%以上削減する。	目標が達成されなかったため、第2四半期では職員への周知を増やし、節電に対する意識付けをより強化する。	夏の猛暑の影響か、通して1割以上増加している。また、東北地震直後の昨年に比べ、節電に対する意識の差も一因なので、今後も職員への周知を続けていく。	全体を通して目標の達成ができた。第4四半期でも現在の状況を維持したい。	年間を通して0.6%削減にとどまったため、H25年度においても引き続き節電に取り組む。	年間を通して0.4%の増となってしまうのは残念である。夏の猛暑が原因であると思われる。	施設全体での削減目標であるため、年々設備が古くなっていることから、職員への周知徹底だけでは困難な状況である。
下水道課(浄化センター)	汚水浄化処理に用いる高分子凝集剤、消臭剤、次亜塩素酸ナトリウムの使用量を削減する／汚水浄化の質を落とさず3薬剤を削減し、環境負荷の軽減を図る。汚水1m3あたり使用量で対前年比1%の減を数値目標とする。 目標※想定年間汚水流入量 1,160,000m3 ①高分子凝集剤 0.85kg/m3(使用総量986kg) ②消臭剤 2.31ml/m3(使用総量2,679l) ③次亜塩素酸ナトリウム 11.71ml/m3(使用総量13,578l)	①③は計画以上に削減したが、②は前年同期比0.1%の減にとどまった。引き続き監視する。	今期は③達成で①②は超過。トータルでは対前年度比1%超の減を確保した。引き続き監視する。	②は超過。トータルでは対前年度比1%超の減を確保。②の消臭剤は、本年度の実績も見極めたうえで使用態様を検証する。	②のみ超過。年間では、①②は前年度より逆に増加し、③の大幅減により3薬剤トータル増減率で1%超の減を達成した。	薬剤使用状況の把握・検証結果を担当外者も含む課員全員で共有して現状を認識することは有意義であり、今後も継続された。	①は6～9月に増加しているが、前年には夏場の増加はなく、理由不明。さらに把握を続けて検証する。②は、使用量は例年と同じであり、汚水流入量あたりの増加理由は分母(流入量)の減少。臭気を随時計測して消臭剤を有効に調整するのは難しく、現量維持で了とする。
下水道課(クリーンセンター)	円滑なし尿処理を行い、電気・重油の使用量を削減する。／し尿処理として排水基準を遵守し円滑に処理を行い、電気・重油等を削減し、環境負荷の軽減を図る。 目標：前年度比、約1%の削減をする。 ①電力量：38.9kwh/KL ②重油：3.85L/KL(年間処理量の1KLあたりの使用量とする)	搬入量：11,947KL 3ヶ月の平均で、②は目標値より0.9%の削減となったが、①は0.5%の増加となった。 (前年度比：処理量が約0.9%減少した)	搬入量：11,467KL ②は目標値より3.6%の削減となり①は3.3%の増加となった。(気温の上昇によりルーフファンの使用が増加した)	搬入量：11,222KL ①は目標値を達成した ②は目標値より6.5%増加となった。(肥料の生産量が前年度比約1.9倍に増加したため)	搬入量：12,088KL ①は目標値より6.68%の削減となった。②は目標値の1.82%増加となった。(前年比より肥料の取出時間が増加した)	当該設備は、電気・重油を大量に使用することから、引き続き効果的な運転管理を職員全員で取り組んでいただきたい。	年間を通して①は目標値の0.9%の削減となり②は1.2%の削減となった。(今後も効率の良い運転管理に留意していく)
(スポーツ・経済部)							
スポーツ課	大会開催時「ゴミをなるべくさない。」「食べ残しはしない。」「排出ゴミの分別」など環境にやさしい行動を呼びかける。／15大会+しまだ大井川マラソン大会で呼びかける。	各大会で呼びかけ、弁当の余剰は持ち帰ってもらった。	各大会で呼びかけ、弁当の余剰は持ち帰ってもらった。	各大会で呼びかけ、弁当の余剰は持ち帰ってもらった。	各大会で呼びかけ、弁当の余剰は持ち帰ってもらった。	大きな大会でも係員をつけることによりゴミの分別ができた。	
商工課	電気使用量の削減／①蛍光灯の5本の間引き(使用蛍光灯 39本→34本)【上半期】②北面のガラス窓へ保温材貼布【下半期】	3本に蛍光灯を間引いた。	2本に蛍光灯を間引いた。エアコンの使用量を抑えた。	当初保温材を段階的に設置する予定だったが、年明けに本庁舎へ引越すため12月にすべて設置する。	1月の参考電力量で若干使用量が下がった。2月中旬より本庁舎へ移転のため評価できなかった。	年度途中での職場移転により職場環境の定量的評価の実績効果に精度を欠く面があったが、電気使用量については、改善傾向にある点は評価できる。	定量的評価が、困難であった。次年度は、明確な数値目標を掲げたい。
観光課(田代の郷温泉)	館内電気使用料の削減／年間電気使用料の前年対比1%削減	この期間は、比較的涼しい日が多く扇風機やエアコンを使用しなかったことからパーセントの削減が可能となった。	この期間は、非常に暑い日が続く館内を冷やすため、水道水の使用が多くポンプもフル稼働したため増加した。	この期間は、11月から急に寒くなり館内の暖房を効かせた為、増加してしまった。	今期は暖冬傾向にあったことから0.5%削減となった。実績合計708,800w/年となり対前年比0.2%増だった。H25年度は一層の節電対策を行っていく予定です。	来館者に快適な空間を提供することが第一。その上で節電に取り組むためデマンドを取り入れ努力している。	必要度に応じた節電(消灯)を徹底する試みを推進する。(H25は事務室内西側照明の消灯を実施する)
農政課(農業委員会事務局含む)	一般廃棄物の削減／前年比の1%減を目標とする	4月は課合併に伴い、廃棄物が増加した。今後は削減をめざす。	一般廃棄物の削減に努めることができたと評価する。	庁舎の引越に伴い、廃棄物が増加した。今後は削減をめざす。	庁舎の引越に伴い、廃棄物が増加した。今後は削減をめざす。	事務室移転があり、目標の1%減は達成できなかったが、全体的に減量に努めることができた。	

所属名	内容(項目)／目的・目標	進行状況及び評価				環境管理委員または実行組織責任者の評価	問題点・是正措置
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
【建設部】							
都市計画課	雨水浸透ます設置の推進／雨水流出抑制と水資源確保のため。年間16基。	6月に申請2件設置3基といった実績で計画を上回った。第1四半期は目標達成に向け順調な滑り出しとなった。	今回は計画を下回ったが、第1四半期に2基上回っているため合計では計画どおりの値を維持できている。	第3四半期は実績がなく計画を下回る結果となった。今後も引続き補助金制度説明等を行い設置推進に努めたい。	前期の結果に基づき関係機関へパンフレット送付等PR活動を実施したが目標数には届かなかった。	目標数値に達しなかったのは残念であった。開発業者や市民への周知方法を再度工夫する必要がある。	第3四半期に実績がゼロであったため関係団体への働きかけ等対策を実施した。
建設課	アスファルト舗装において溶融スラグを利用する。／合材50t以上は100%実施する。	工事の発注が無く合材50t以上使用する工事がなかった。	工事の発注が無く合材50t以上使用する工事がなかった。	合材50t以上使用する工事について100%使用することができた。	合材50t以上使用する工事について100%使用することができた。	目標を100%達成することができた。環境対策の意識を一層高め、今後も継続されたい。	特になし。
建築住宅課	建築確認申請等の書類提出時に使用している紙ファイル、クリアファイル、封筒を申請者に返却して再利用してもらう。／返却率100%	クリアファイルと封筒は数を把握していないが100%返却した。紙ファイルも全て返却できている。	計画より実績が少なくなっているが、申請数の減、紙ファイルを使用していないものがあつたためである。	申請件数が少なかったため。	計画を上回ったのは3月のみとなったが、ファイルは全て返却した。	環境に配慮した取組みをPRするためにも継続してください。	課員への周知を図る。
市街地整備課	一般廃棄物排出量燃えるごみ減量／紙の裏面再利用及び古紙への分別を積極的に図り、燃えるごみの前年度比1%の減量を目標とする。	ごみの量が増え気味である。印刷紙等の古紙への分別をもっと徹底したい。	ごみの量が減ってきた。このままの状況を維持したい。	ごみの量は平均的に増えていない。係員の、ごみの減量に対する考え方が定着してきたようだ。	事務所移転に伴う引越し作業で、ごみの量が増えてしまった。	計画地に対し17%減の実績を収めた事は、職員の意識の高さの表れであり、次年度は前年度実績以下を目指して下さい。	年間158.9kgで、ごみの減量を達成できた。今後も継続していきたい。
市街地整備課(区画整理係・金谷)	本庁への事務連絡による公用車のガソリン使用量の削減／使用料の削減 月6L(年間72L)	計画の135L(3ヶ月)に対して、実績が94.5Lとかなり給油量が少なくなっている。職員の公用車使用に対する意識も高まっており、今後も同様に取り組んでいきたい。	計画の135L(3ヶ月)に対して、127.56Lであった。4月～6月期に比べると多くなっている。9月末に相談会のイベントがあつたため、打合せ、用品調達、搬入と公用車を利用する機会が多かつた。	計画135Lに対して114Lであった。外出時に効率よく公用車を使用する等、意識しながら使用をしている結果だと思われる。	計画135Lに対して69Lと給油量が少なかった。外出時に効率よく公用車を使用している結果だと思われる。	計画地の25%削減出来たことは、日々公用車の効率的な使用を心掛けた結果を評価致します。	ガソリン使用量は、計画540Lに対して実績405Lであった。年間135L・月平均11.25Lの削減であり、今後も維持していきたい。
すぐやる課	印刷紙の使用量削減／紙の使用量削減、裏紙の利用量増加。昨年度よりマイナス4%の平均6kg/月を目標とする。	計画の排出量より更に2kg減らす事が出来た。	計画の排出量より更に3kg減らす事が出来た。	計画の排出量より3kg増の結果。(年末に大掃除を行った事による影響)	計画の排出量より36kg増の結果。(1月に事務所移転を行った事による影響)	印刷紙使用量削減には、十分努めていたが、測定方法が前年との古紙排出量で比較した為、増加した結果となったと推測する。今後は、評価方法の見直しを検討したい。	事務所移転の際に廃棄した個人資料等により廃棄量が増加した。
【支所】							
金谷南地域総合課	冷暖房の設定温度「冷房は28℃以上、暖房は20度以下」を遵守し、電気使用を抑制する。／電気使用量を昨年度より5%削減する(目標値：78,100kwh)	4月は2年毎に行われる「金谷茶祭り」の影響で実績値が目標値を大幅に上回ったが、5月、6月と段々と計画通りとなっていった。今後も計画通りに進めていく。	冷房設備は温度設定を28℃に厳守し、稼働を午前10時からとし、終業時間前に切るようにした。8月、9月は計画値より上回ったが、8月は昨年の実績値(7,602kwh)よりは下回り、9月は昨年より集客室等の施設の利用率が高かったことによるものです。今後は電気使用の抑制に努め、年間目標値を下回るよう推進したい。	エアコンによる冷暖房をなるべく使わないよう努めたが、10月になっていっつも暑く、12月になると急激に寒くなったりして、すべての月で計画値より上回ってしまった。ただ、11月は昨年の実績値(5,911kwh)よりは下回った。今後は、照明、暖房等をこまめに切って電気使用の抑制に努めたい。	暖房の温度は20度とし、こまめに切ったりして電気使用の抑制に努めたが、2月を除き、1月、3月は、計画値より上回ってしまった。これは、昨年より寒かつたためと思われる。	本年度は目標値を上回ったが、22年度使用量対比では90.2%、前年度対比98.8%と削減されている。今後更に削減できるようサロン使用者に協力依頼を行わなければならない。	23年度において前年度より8%以上削減して、それより更に5%の削減という当初目標を設定したが、限界以上の目標設定だった。目標を1%くらい削減とすべきであった。
金谷北地域総合課	金谷北地域交流センターの電気使用量の節電をする。／23年度使用量は22年度比△8%の実績のため、24年度は現状維持若しくは減とする。))	目標に対して7.3%の減少(9,000kwh→8,344kwh) ▲656hwh	目標に対して6.9%の増加(10,500kwh→11,231kwh) 731hwh	目標に対して12.2%の増加(7,900kwh→8,864kwh) 964hwh 昨年と比べ、寒さが早く到来し厳しくなつたため、暖房使用が増加した。	目標に対して12.2%の減少(15,400kwh→14,153kwh) ▲1,247kwh 3月に入り会議等の使用回数が増え、また気候も良くなったため、暖房使用が減少した。	暑さ寒さが厳しかったが、月平均3165kwhという結果が出ており、職員・利用者ともに意識が高まっている。	
川根地域総合課	支所庁舎電気使用量の節電を実施する／前年比+0(平成23年度使用量は前年比△15%の実績となった為、本年度は現状維持または減とする。)	4月△24.3%、5月△9.7%、6月△23.3%、3ヶ月平均4166kwh△19.1%実績である。エアコン利用が始まる今後は、目標実現に職員全員で取り組む。	7月△15.9%、8月△2.6%、9月△9.4%、3ヶ月平均4995kwh△9.2%実績である。グリーンカーテンの育成、扇風機の併用により朝夕のエアコン利用削減等に努めた。	10月+1.5%、11月+0.7%、12月+11.0%である。12月1期日前投票会場での暖房利用(8日間PM8時まで)があり、利用量が目標値より増加した。寒さが厳しい時であるが、目標値実践を目指す。	1月+0.6%、2月△15.5%、3月△8.1%である。寒さが緩み職員の節電協力が得られた。年間平均4668kwh/月対前年△8.4%となった。	対計画5,116kwhの節減となった。クールビズとウォームビズに取組んだ結果と評価するが、今年が最大値と考える。	冬季の暖房器具の使用に個人差があり、調整に苦慮する。自己管理での対策を今少し導入し、協力を周知する。

所属名	内容(項目)/目的・目標	進行状況及び評価				環境管理委員または実行組織責任者の評価	問題点・是正措置
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
【看護専門学校】							
教務課	電気使用量の削減/前年度比1%の削減	6月は前年度を下回ったものの、4・5月については前年度を上回ってしまったため、3ヶ月合計では前年度と同程度の使用量となった。今後夏になるにつれて、電気使用量が確実に増えていくことが予想されるため、これまで以上に節電に心掛けていきたい。	7月は前年度に比べ1,000kwh減ったが、8・9月は夏の暑さのためエアコンの使用量が増え電気使用料が増加してしまった。引き続き節電について呼びかけていきたい。	暑さのため、10月は使用量が増えた。11月、12月はほぼ前年の使用量を維持しているが、今後冬になるにつれて、エアコンの使用が増えるので、一層節電に心掛けていきたい。	冬場であったにも関わらず、こまめに節電を行った結果、1月～3月は大幅に使用量を減らすことができた。	年間を通じて学生の学習状況に応じた対策を呼びかけ、目標達成ができた。しかし、更に学生・職員の意識の持ち方で削減量を増やすことが可能と考えられる。	1年を通じて使用量の削減ができ、目標が達成された。しかし、夏場はどうしても使用量が増えてしまうため、引き続き学生への呼びかけ等、節電についてのPRを心がけたい。
【出納室】							
出納室	口座振込払通知書/通知書の送付枚数を削減し、通知書印刷、通知書配達等に係る環境負荷を軽減する 目標値：年間30,600枚	通知書の同封等を実施することで、送付枚数の軽減が図られている 66.3%	通知書の同封を継続して行うとともに、プリンターを変更したことで通知書の印刷ミスが減少した 76.0%	プリンターの変更に伴い通知書がスムーズに印刷されるようになった 80.8%	通知書の同封作業、プリンターの機種変更により年間を通して、送付枚数の軽減が図られた。	毎月の目標数値を下回る数値実績で、対応することが出来た。今後も引き続き継続するよう課員全員で努力したい。	課員全体で取り組むテーマとしては課題が残った。
【教育部】							
教育総務課	公用車のガソリン使用量の削減/前年度比1%の削減	本庁者へはなるべく乗り合いで行くようにした。	決裁、研修会、会議等へは他課も含め乗り合いで出かけた。	決裁等について、期間に余裕があるものは、まとめて出かけるようにした。	1年間のガソリン使用量は、目標には程遠く、前年度比0.01%の削減にとどまった。	本庁舎への乗合いなどの姿がみられた。数値実績はないが、意識をもって取り組んでいる。	出先機関であるため、本庁舎等へ出向く回数を減少する方針に苦慮する。
五和幼稚園	五和幼稚園のゴミ排出量の削減/毎月の燃えるゴミ排出量を1%削減する。	紙類はなるべく裏面利用し、その後古紙回収へ出す。雑草・落ち葉等は堆肥として再利用する。保護者が行事で来園する際には、ゴミの持ち帰りを呼びかける。	8月は民営化に伴い教材の整理をした為増量になった。9月は雑草を乾燥させ処分したり堆肥にしたのがよかった。	側溝・園庭の枯葉等の処分時水分を含んだまま出したのが増量となった。12月は粗大ゴミが出ないよう気をつけた。	民営化に伴い不要文書や教材の整理・廃棄でゴミが多量にでた。シュレッダー処理や古紙回収にだすよう努めた。	目標は十分に達成されており、取り組みへの努力を認める。	水分を含んだ状態での処分は避けたい。民営化に伴うゴミ増量はやむを得ない。
学校教育課	会議資料等紙使用量及び燃料費の削減/前年度比1%の削減	会議資料の削減 燃料費の削減	本庁舎へはできるだけ乗り合わせていくようにした。	会議資料の削減に努めるよう努めた。	会議資料の削減 燃料費の削減	会議資料の削減など一定の努力はみられた。数値実績はないが、意識を少しずつ変えていくことが大切。	昨年度と比較し、燃料費と資料の削減に努めたが、具体的な数値実績が出にくい問題がある。
東部調理場	一般廃棄物排出の削減/前年度比1%削減	ごみ袋の削減	ゴミの排出量少し削減	10・11月計画量より ゴミの排出量増量	ゴミの排出量計画量より少し増量	ゴミ袋の使用量30ℓ：700枚 70ℓ：155枚昨年度と比較し38.7kg増量でした9・10・11月が、昨年度よりゴミの排出量・ゴミ袋の使用が、多かった。	
西部調理場	ノーカーデーを強化しCO2削減量を増やす/ノーカーデー週間の数値の倍を目標にする。	ノーカーデーを意識し、それ以外でも実施してもらうように依頼。	ノーカーデー週間以外でも自転車や徒歩で出勤してくれる回数が増えた。	12月は寒くなったり、勤務体制が変わり車で出勤する回数が増え実績が減少してしまった。	3ヶ月間の実績はあまりよくなかったが1年を通して平均6.17に対し13.54となり、目標を達成することができた。	1年を通して目標値をクリアでき初めての試みとしては良かった。	
北部調理場	印刷物の使用量の削減/前年度比1%削減	食品検収簿・人数表を裏面利用	メール等のプリントアウトを裏面用紙使用	保存食記録簿・掲示用献立表を裏面利用	コピー用紙の裏面利用	コピー用紙の削減することにより経費も削減できた。	裏紙不足により、コピー用紙を使うときが生じた。
社会教育課	一般廃棄物排出量の削減/毎月の一般廃棄物排出量を1%削減する。	目標値170kgに対し、実績値164.3kgで四半期計としては目標を達成している。6月は古紙の廃棄が目立った。	目標値180kgに対し、実績値105.5kgで四半期計としては目標を達成している。裏面利用の促進効果が現れている。	目標値190kgに対し、実績値216.2kgで四半期計では目標を達成できなかった。倉庫整理による廃棄量の増が原因。	目標値230kgに対し、実績値215.4kgで四半期計としては目標を達成している。3月は不要冊子整理を含んでいる。	目標を上回る削減が出来た。今後も削減に向けて全員で取り組んでいきたい。	なし。
文化課	一般排気物排出量の削減/一般排気物排出量を月30kg以内とする。	第1四半期は、目標値を下回った。これは、課の体制が新しくなり、減量に務めようとする職員の意識の現われと考える。	新体制に慣れてきたこともあり、業務も順調に進められるようになったため、平均値は上がったが、目標値は下回ることができた。	イベント等が集中したため、目標値を若干上回った月があった。特に12月は、年末の整理(大掃除)を行なったため、排出量が多かった。	目標値をほぼクリアしてきているが、3月については、人事異動などによる年度末の整理を行なったため、目標値を上回った。	新たに設置された課であったが、年間とおして、取り組みに対する職員の連帯意識が高まってきた。	年間通じて月平均30kg程度の排出量であるため、これ以上の減量は難しい。

所属名	内容(項目)／目的・目標	進行状況及び評価				環境管理委員または実行組織責任者の評価	問題点・是正措置
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
文化課(博物館)	電気使用量の削減／前年度比3%の削減	第1四半期は前年度を11%下回り、目標値を大きく上回った。今後、夏になるにつれて、電気使用量が確実に増えていくことが予想されるため、これまでに以上に節電に心掛けていきたい。	7月・8月は館内の照明や空調機などの節電を行い、前年度を下回ったものの、9月は前年度を上回ったしまった。3ヶ月合計では6%と目標値を達成した。	館外の通路が暗いため、防犯等を考慮して消灯してあった外灯をつけたなどにより、使用量が3.7%増えた。	暖房温度を下げたことにより2%減少したが、来館者へのサービスが低下をできるだけ抑えていかなければならない。	外部の環境監査委員の意見にもあるように、来館者へのサービス低下を招くことのないような取り組みが必要である。	電気の使用量は、展示等にかかる部分が大きいため、これによりサービスの低下を招いてしまう恐れがあることから節度ある削減を心がけていく必要がある。
島田図書館	①図書館のweb予約を推進し、予約申請用紙の消費削減を図る。 ②図書館カードをリライトカードに変更し、貸出しレシートの削減を図る。／①図書館利用者へweb予約の浸透を図る ②リライトカードは9月22日より使用開始する	web予約の利用の推進 図書館カードをリライトカードに交換を進める。 6月15日から休館 休館中は金谷図書館でweb予約を受ける。 9月22日よりリライトカード使用開始	6月15日から9月21日まで休館 休館中は金谷図書館でweb予約を受ける。 web予約の利用の推進 9月22日よりリライトカード使用開始	web予約の利用の推進 リライトカードへの交換を進める	web予約の利用の推進 リライトカードへの交換を進める	web予約とリライトカードにより、着実に用紙の削減が図られた。利用者の利便性にもつながるものであり、今後さらに推進したい。	
金谷・川根図書館	金谷・川根図書館の燃えるゴミの削減／毎月燃えるゴミ量を5%削減する。	職員にゴミ削減意識があり達成できた。 目標数値よりもさらに3%の削減ができた。	島田図書館閉館中は、金谷図書館が主体で事業を行っていたため、ゴミが28%増となってしまった。	島田図書館が開館し通常体制となったため、目標数値よりさらに16%の削減ができた。	計画数値に比べ19.5%を削減することができた。	6～8月の業務増に伴う排出量の増があるが、職員の意識を一層喚起し削減に努めてください。	目標値を上回った月が、夏季に集中しているため、夏季ゴミ削減キャンペーンを行う。
【監査委員事務局・議会事務局】							
監査委員事務局	例月現金出納検査における調査について、すべてA4両面印刷とする。／6月提出調書からA4両面とし、年間使用枚数をA4用紙2000枚以下とする。	目標値設定後、関係各課へ連絡し、6月提出分からA4両面の提出に切り替えた。	各課からの提出書類は、A4両面印刷されており、計画通り実施できている。	各課からの提出書類は、A4両面印刷されており、計画通り実施できている。	書類確認者が1名減となったため、各課からの提出部数を1部減とした。そのため計画より使用枚数が削減できた。	A4換算で比較すると4,120枚が1,914枚に半減したことから効果は非常に高いと思います。	特になし
議会事務局	資料印刷により紙を大量に使用するため、両面印刷の励行を行う。また、当局向け資料は、電子データによる提供を推進する。／毎月の紙の使用量について、昨年度の実績に対し、2%の減量を図る。	目標(昨年度98%) 62,549枚 実績:75,732枚 増減:+13,183枚 事務局による議会だよりの増刷等による計画を上回った。	目標(昨年度98%) 47,595枚 実績:41,723枚 増減:△5,872枚 第2四半期では、目標を上回る結果となった。	目標(昨年度98%) 39,679枚 実績:56,477枚 増減:+16,798枚 10月、12月は大きく目標を上回る結果となった。	目標(昨年度98%) 25,471枚 実績:22,902枚 増減:△2,569枚 1月、2月で目標を削減した結果となった。	議員等へ配布する場合は、どうしても紙媒体となるため、事案によってはやむを得ないが、今後とも一層の意識徹底に努めてほしい。	文書出力・印刷時の内容の再確認を徹底する。用紙削減のため、さらなる両面印刷の励行が必要と考える。
【監査委員事務局・議会事務局】							
消防総務課	定時退庁日を現行、週2日から隔週で3日とし、月2日の増とする。(電気使用料の削減)／月曜、水曜の定時退庁の他、隔週で定時退庁日を設定する。	第1四半期は通常の取得状況であった。	通常の取得状況であった。	通常の取得状況であった。	通常の取得状況であった。	目標を達成するために、職員への協力と周知を徹底すべきである。今後も削減に努力された。	職員の環境に対する意識の高揚。削減目標への努力を徹底させる。
警防課	電力需要の多い夏季だけではなく年間を通じ削減する。(計画の数値は、前年実績の5パーセント削減した数値)／前年度同月比較で5パーセント削減を目標 (計画の数値は、前年実績の5パーセント削減した数値)	例年と比較すると夏日、真夏日の頻度が少ない。また、入梅してから、湿度が低めで推移しているため電力消費が少なく、節電もできている。	8、9月は例年比に比べ猛暑日が多く、各個人が節電に心掛けたものの、昨年比で約10%増加してしまっした。	寒暖の差が激しく空調設備を長時間使用したため、電気消費量が大幅に増加した。	寒波の影響で空調を頻繁に使用した。また、2月28日から119番受付業務を単独運用を開始、深夜、早朝まで空調を使用したため増加した。	目標を達成するために、職員への協力と周知を徹底すべきである。今後も削減に努力された。	庁舎全体の使用量が積算されるため部全体に周知取組む必要がある。
予防課	住宅用火災警報器の設置推進／設置率を100%に近づける。	市広報紙による広報、庁舎見学に訪れる小学生、幼稚園児への広報を実施。	市民会館で開催された老人会のイベントや庁舎見学に訪れた小学生、幼稚園児への広報を実施。	島田産業祭に参加して広報を実施した。他に秋季火災予防運動中に一般家庭防火訪問実施、学校や企業の避難訓練指導の時広報を実施した結果設置率が上昇した。	島田元気市に参加して広報を実施した。他に春季火災予防運動中に一般家庭防火訪問実施、街頭広報を実施した。設置率調査は2月で終了したため3月の実績は不明。	目標に達しなかった原因を検証し、今後の取組みを見直す必要がある。	訪問したが留守などで調査できていない家庭の調査をどうするか。未設置家庭への設置推進方法の検討。
島田消防署	燃えるごみの削減／前年比の1%減を目標とする。	4、5月と計画どおりに減量されているが、6月の増量については残飯などの量が増えたもの。今後は食べ残し等が無いよう課員に周知する。前年比の1.01%の増	7、8月は暑さにより食欲減退などから、食べ残しが増加したため、ごみ増に繋がったものと考えられる。22.7%と大幅な増	月平均181kgと前年比に比較し、10%程度削減することができており、署員の意識が高くなってきている。	月平均の203kgは計画どおりクリア。	ゴミの減量は、個人個人の意識がなければ非常に難しいと思います。常日ごろから指導、協力を仰いでください。	7月及び8月の食べ残しにより、ゴミの量が増加し、前年度の1%削減目標を達成できなかったことは、誠に遺憾。今後も引き続き署員一丸となってゴミの削減に努めます。(25年度再チャレンジ)

島田市エコアクション21環境活動報告レポート

所属名	内容(項目)／目的・目標	進行状況及び評価				環境管理委員または実行組織責任者の評価	問題点・是正措置
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
島田消防署 六合分遣所	電気使用量の削減／前年比の1%減を目標とする。	4月、5月は計画目標を上回ってしまったものの、四半期の小計では計画範囲内と評価する。	四半期の実績にあつては、計画電力より「170kWh減」の節電が達成。	今回は計画電力の「147kWh増」となるも、年度末には目標値の月平均以下に抑えるよう努力する。	今年度の実績は「1,698kWh」と目標値には達する事ができなかったが、職員全員で協力し節電に取組む姿勢は評価できた。	毎年の削減で、これ以上の削減は非常に苦しいと思いますが、グリーンカーテン等を活用し、節電に努力してください。	削減を重視しすぎれば職員の体調不良が懸念されるため、冬の暖房はストーブをメインにするなど燃料等を考慮して、来年度は取り組んでいきたい。
島田消防署 初倉分遣所	一般廃棄物の削減／前年比の1%減を目標とする	4月は異動等により廃棄された個人の書類等があった為増加したが、ほぼ計画通りであったが、今後は削減をめざす。	第2四半期は、目標を達成できた判断する。今後も継続して進行させたい。	第3四半期は、年末に近づくとつれ、廃棄する物や紙類が増え、大掃除にはその量も多量となってしまった。	今年度実績が上回ってしまったところが多数でしまった。	目標値には程遠い数値であると思います。本年度は職員数も2名増えることから計画数の見直しが必要です。	職員個々のゴミ削減に対する意識が低かった。今後は個々の意識を高め取組んでいきたい。
金谷消防署	一般廃棄物(燃えるごみ)の減量／削減によりCO2排出の軽減。毎月1%減を目標とする。	各月とも職員の協力により排出量の削減が出来、目標が達成された。今後の四半期に継続していきたい。	2四半期は計画数値を平均し上回り目標値を達成することができず残念である。第3四半期以降、協力を再度職員に依頼する。	職員の協力を得て、計画どおり目標をほぼ達成することが出来た。第4四半期も目標を達成するよう職員の協力をお願いする。	3月は大幅な増となり目標値に達することができなかった。今後は職員一丸となり努力していきたい。	資源の抑制によるCO2排出を軽減するよう努めてもらいたい。	一人一人の職員に対し環境への理解と削減努力を徹底させる。
金谷消防署 川根南分遣所	電気使用量の削減(設備管理)／前年比の1%減を目標(緑のカーテン設置)	5月期に昨年同時期の数値より微増となったが、平均値以下であり概ね良好。	今期だけの合計比較では、緑のカーテンによる目標(前年の1%減)を5.7%減で達成した。	11月は、長期不点灯の外灯2基改修で微増。12月は、新規設置の自動販売機使用料分の増となった。	年平均値が2,662kWh。残念ながら昨年より微増となった。夏季の暑さ対策は良好であったが、冬期は予想外の冷え込みが続き暖房の電力消費が増えてしまったと思慮する。	計画とおり、ほぼ目標を達成したと思われる。今後も削減に努めてもらいたい。	本年度は緑のカーテンで省エネ対策を実施したが他により良い方法があるなら積極的に取り入れ実施する。
金谷消防署 川根北分遣所	電気使用量の削減／前年比の1%減を目標とする	第1四半期は、職員が節電に取り込み計画どおり実績が残せた	第2四半期は、2ヶ月連続し目標を上回る結果となり職員全員が再度節電に取り組めます。	計画どおり実施するために、職員全員で、エアコンの使用を控え、暖房器具を主に使用し節電に再度取り組みました。	職員全員で節電に取り組む計画どおり実績を出すことができました。	計画とおり、ほぼ目標を達成したと思われる。今後も削減に努めてもらいたい。	ノーカーデーについては、個々の通勤距離が長い為協力者が少ないが、今後は相乗り等を実施していきたい。
【島田市民病院】							
経営企画課	昼休み、長時間の離席はパソコンの電源を切る(設備管理)／業務上必要のない全てのパソコンの電源を切る	周知後の6月は改善傾向であり、更に周知をしている。	定期的に節電を呼びかけており、目標にほぼ近い状態となった。	職員への呼びかけは継続中、目標に達成している。	節電への取組意識は高い状態であり、目標はほぼ達成した。	目標通り、100%の達成が得られた。職員取組意識の高さに満足している。	職員一人一人の改善の意識が重要。職員周知の工夫が必要と考えます。
管理課	市民病院 使用電力量の削減／H23年度の使用電力量の7,675,056kWh合計に対して1%削減7,598,305kWh	H23 4～9月4,110,264kWhに対してH24 4,069,584kWhの実績、-1.0%→目標達成 夏季の気候が平年並みであったため省エネの取組みが功を奏し、目標を達成できた。		H23 10～3月 3,564,792kWhに対してH24 3,448,620kWhの実績、-3.3%→目標達成 10月の冷房運転が長引き、昨年を大きく上回ったが、その後順調に昨年を下回ることができた。 年間通じてH23 7,675,056kWhに対してH24 7,518,204 kWh 2%の削減が達成できた。		・23年度に引続き24年度も目標を上回る削減ができた。 ・節電PRのための屋根へのアルミ缶設置は大変良いアイデアだった。	電気使用量は夏季の気候に左右される。強行に省エネを推進するのは難しい
医事課	本庁、健康福祉センター間の事務連絡のガソリン使用量の削減／出来るだけ自転車等代替手段を行い自動車使用回数を平均月7回以下にする。	6月は市議会関係の質問も大きく通常回数で抑えることができた。	9月は市議会の質問があり、例月より多くなってしまった。	12月は市議会の質問も関連質問だけで、病院他課に相乗りさせてもらい、回数を抑えた。	1月の使用回数は少し多かったが、7回に抑えることができた。	概ね目標を達成できている。	後半に意識が低下してきたので来年度は頻繁に周知していきます。

<学校施設>

学校名	内容(項目)／目的・目標	目的・目標	現状又は昨年度実績	実施期間及び実績
島田第一小	電気使用量削減	この3ヶ月で電気使用量が増加してしまっているため前年度並になるよう節電に心がける。(こまめに消す・昼休みは消灯)	毎年7,000kwh以内を目指す。昨年度並に抑えるようにする。	24年度一年間 95,969kwh 月平均7,921kwhであった。 (23年度は92,625kwh 月平均7,718kwh) ・アース・キッズの実施(9月～12月)と一小祭での発表。 <実績> 節電への心がけを継続した。こまめな消灯。冷暖房の使用は最低限におさえるようにしたが、前年度より学級数も増え、使用教室が増えたため、目標の月7,000以内には達成できなかった。前年より2,500kwh増加してしまった。次年度もさらに学級数が増えるが、こまめな消灯に心がけたい。

学校名	内容(項目)／目的・目標	目的・目標	現状又は昨年度実績	実施期間及び実績
島田第二小	児童や職員が一丸となって用のない部屋の電気をこまめに消す。	消費電力量を削減しよう。(昨年同月の消費電力量を下回るようにしよう)	教員が不要な部屋の電灯をこまめに消すことに努めている。昨年同月の電気使用量を下回るように努力している。(別途年度別月別電気使用量比較表添付あり)	平成24年7月～平成25年3月 ＜実績＞ ・7月から2月までの8ヶ月のうち、4月が前年度同月を下回った。 ・前年度の使用量との差が-1,485kwhとなり、前年度比を14.7%下回った。
島田第三小	・古紙回収 ・裏紙利用 ・アースキッズの実施 ・朝顔のグリーンカーテン ・ペットボトルキャップ回収 ・プルタブ回収	・今年度中に紙の使用量5%削減(昨年度比) ・今年度中に古紙回収量5%増(昨年度比)	・紙の使用量削減のため、裏紙利用に努めている(昨年度の紙購入枚数A4再生紙21万枚)。 ・PTAや地域と連携して古紙回収を行っている。 ・福祉委員会でペットボトルキャップとプルタブを回収している。	平成24年度1年間 ＜実績＞ ・アース・キッズの実施(5年生) ・総合的な学習の時間での環境学習(5年生) ・朝顔のグリーンカーテンの実施(1年生) ・古紙回収(新聞紙9,160kg・ダンボール2,060kg 雑紙3,310kg) ・アルミ缶回収160kg プルタブ2.1kg ・ペットボトルキャップ回収1,267個
島田第四小	アルミ缶集め	アルミ缶のリサイクル活動に取り組むことを通して、資源を大切にすることを育てる。	昨年度はアルミ缶570kgを回収	平成24年4月～平成25年2月4・5月で100キログラムを超える実績があった。 ＜実績＞ 年度末には600キログラム程度の回収が見込まれる。
六合小	紙ゴミのリユース・リサイクルの促進	紙ゴミのリユース・リサイクル100%	80%程度はリユース・リサイクルされている。	平成24年度(一年間) ＜実績＞紙ゴミのリユース・リサイクル100%(目標) 100%を目指し努力した。 多くは機密文書のためリサイクルできなかったが、それ以外はリサイクルに向けた努力ができた。
大津小	アルミ缶回収	アルミ缶の回収収益7万円	68,864円	1年間 <実績>63,278円
伊太小	節水・節電	限りある資源を大切に使う (伊太小エコ作戦・昨年度比5%削減)	平成23年度水道使用量 1,557m ³ 平成23年度電気使用量 58,305kwh	平成24年6月5日から平成25年2月28日 ＜実績＞ 平成24年度水道使用量1,648m ³ (2月まで) (H24度は9月までプール使用を行ったので、水道料は増加したが、他の月は、節水に心がけることができた) 平成24年度電気使用量49,897kwh(2月まで) 平成23年度電気使用量53,634kwh(2月まで) ※2月までを前年度と比較すると、電気使用量は減少していて、成果を上げることができた。
相賀小	資源回収時に菓子やティッシュペーパーを捨てずに雑紙として回収し、リサイクルに回す。	学校で行っているし資源回収時に雑紙も回収し、学校だけでなく各家庭においても紙のリサイクルに協力してもらおう。桜井資源によれば、雑紙は、雑誌類の扱いとなり紙袋に入れての回収が可能であること。	印刷用紙サイズの紙類はリサイクルに回しているが、それ以下の物は、ゴミ箱に捨て焼却をしていた。このことに着目し、印刷用紙サイズ以下の紙も雑紙としてリサイクルに回す。	平成24年6月3日より平成26年2月28日(2月28日以降も継続して取組中) ＜実績＞ 今までゴミとして処理してきた印刷用紙以下の紙を、職員室はもちろん、各教室でも回収し、雑紙としてリサイクルした。 6月～2月末現在で26.1kgの回収(校内) なお、相賀筑全体にも呼びかけ、廃品回収に協力をいただいている。
神座小	電気使用量の節約、リサイクルによる資源の再利用	・使用しない部屋の消灯、及び電気器具類の電源を切ることをこまめに行う。 ・遮熱カーテンやグリーンカーテンを設置することで、校舎内の室温を下げることで、電気使用量を削減する。 ・PTA活動における地区の古紙やアルミ缶等の回収や児童会活動におけるペットボトルキャップの回収、紙の両面利用を通して、資源の再利用を心がける。	・使用していない部屋や、電気器具類の電源を落とし、節電に心がけている。 ・ペットボトルキャップ、古紙、アルミ缶等の資源回収を随時行っている。 ＜H23実績＞ ※ペットボトル回収個数190,000個 ※古紙等回収量54,240kg	平成24年4月1日～平成25年3月31日 ＜実績＞ 1. グリーンカーテン及び遮蔽カーテン 2. PTA古紙・アルミ缶回収 ・古紙等回収量50,680kg ・アルミ缶880kg ・児童会エコキャップ運動
伊久美小	裏紙を再利用する	資源・エネルギーの節約	コピー用紙購入枚数・金額 H21 A4(75,000枚)A3(12,500枚) B4(12,500枚) H22 B5(5,000枚) H23 A4(25,000枚)	コピー用紙購入枚数・金額 H24 A4(35,000枚) B4(5,000枚) 金額29,000円 ＜実績＞ ・裏面を再利用することで、コピー用紙の消費量を削減できた。 ・再利用のコピー紙に「裏面活用」の文字を印刷していたのをやめて、インクの消費量を削減できた。

学校名	内容(項目)／目的・目標	目的・目標	現状又は昨年度実績	実施期間及び実績
初倉小	PTA環境整備部主催「リサイクル活動」 故紙、アルミ缶の回収とリサイクル	PTAの収益事業にあわせ、地球環境保全にも寄与する。 故紙→50トン アルミ缶→500kg	平成23年度 故紙→60トン アルミ缶→440kg	PTA環境整備部主催「リサイクル活動」 古紙、アルミ缶回収とリサイクル 年2回(6/11,11/12) <実績> 平成24年度 古紙⇒ 57.25トン アルミ缶⇒ 400kg
湯日小	PTA資源回収	省資源・廃棄物削減 50,000kg	新聞23,200kg、ダンボール 15,370kg、雑誌9,550kg、 古着370kg 合計48,490kg	PTA資源回収 平成24年5月26日 平成24年9月22日 平成24年12月15日 年3回の資源回収で前年度合計48,290kgから50,000kgを目指しました。 <実績> 新聞 10,460+7,290+6,180=23,930kg段ボール 4,380+6,380+8,180=18,940kg 雑誌 4,700+2,920+2,390=10,010kg古着 120+110+160=390kg アルミ缶 20kg 合計53,290kg(目標達成)
島田第五小	PTAで取り組む資源リサイクル	PTA活動の一つとして資源リサイクル活動を行い、収益が教育に有効活用されることを実感すると共に、環境保全としての資源リサイクルの意義を理解する。	古紙・アルミ缶 34,710kg	・古紙回収 平成24年24日～平成25年1月20日 ・アルミ缶 平成24年5月12日～平成25年1月20日 <実績> ・古紙回収 28,360kg (内訳)牛乳パック220kg、ダンボール9,460kg、新聞紙11,040kg、雑誌7,640kg ・アルミ缶 580kg 古紙回収とアルミ缶での収益金で学校図書35万円分購入
初倉南小	リサイクル活動 古紙回収・裏紙利用・アルミ缶回収	紙の再利用の促進 年2回のリサイクル活動は、PTA活動として行い、リサイクル意識を高める。	(平成23年度実績) 古紙回収32,629kg アルミ缶430kg	(平成24年度の1年間)学校内における古紙・アルミ缶回収、裏紙利用、総合的な学習の時間、5年生環境をテーマに学習 (リサイクル活動 年2回 6月17日、10月14日)古紙回収・アルミ缶回収 <実績> 地域と連携して古紙回収40,010kg、アルミ缶回収450kg、環境プログラム5年生参加、太陽光発電、風力発電
六合東小	六合東小学校PTA主催のリサイクル活動 (校内区古紙及びアルミ缶回収の取り組み)	資源をリサイクルし、その回収費を教育環境整備に役立てる 新聞紙 26,000kg 段ボール 5,500kg 雑誌 10,500kg アルミ缶 160kg (昨年度の実績程度を目標にしていきたい)	新聞紙 26,290kg 段ボール 5,560kg 雑誌 10,880kg アルミ缶 156kg	平成25年2月3日(日)古紙回収日 ・平成24年10月28日及び12月5日、5日の授業参観日に、保護者が古紙を運び、プールの倉庫に貯めて置いた。 ・古紙回収日の前日2月2日(土)の午前中にも、学校に古紙を保護者を運んで頂いた。 <実績> 新聞紙 23,760kg(目標値:26,000kg)、段ボール 4,757kg(目標値:5,500kg) 雑誌 10,490kg(目標値:10,500kg) アルミ缶 130kg(目標値160kg) 目標値にわずかに届かなかった。 ・新聞紙については、書きぞめ大会等習字の授業で使うことがあり、回収しにくいものが減ったと考えられる。
金谷小	使用電力の節約	前年比100%以内	23年度は、22年度と比較して減少傾向にあるが、24年度4.5月は増加している。	平成24年4月～平成25年2月:使用電力の節約 前年比100%以内 平成23年度(平成23年4月～平成24年2月)143,530kwh 平成24年度(平成24年4月～平成25年2月)140,409kwh <実績> 前年比実績 平成24年4月107.56%、5月106.24%、6月98.83%、7月96.80%、8月89.48%、9月96.80%、10月82.15%、11月96.12%、12月100.16%、1月116.76%、2月96.40% 年間合計 前年比 97.82%達成
五和小	リサイクル活動(古紙、アルミ缶)	天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り軽減することを目的とする。	新聞紙 41,230kg 段ボール 8,890kg 雑誌 17,340kg アルミ缶 468kg 収益 211,550円 奨励金301,140円	6月17日(日)、9月9日(日)、3月3日(日)の3回のリサイクル活動の実施 <実績> 新聞紙 37,810kg 段ボール 9,070kg、雑誌 16,470kg、アルミ缶469kg 収益157,960円 奨励金254,260円
川根小	冷房温度は28℃、暖房温度は20℃とする	節電を図る		平成24年7月23日～平成25年3月31日 <実績> ・冷房温度は28度、暖房温度は20度を守るように努力した。 ・冷房温度のみにとどまらず、冷房使用時間を極力短縮し、昨年度より、電気量を81kwh削減した。 ・暖房についても同様で、短時間(朝・夕方)のみの使用に努めた。

学校名	内容(項目)／目的・目標	目的・目標	現状又は昨年度実績	実施期間及び実績
島田第一中	古紙回収活動	<p>◇自分たちの手で地域の古紙を回収することを通して、資源の再利用など環境へ配慮した生活を心掛けていく契機とする。</p> <p>◇古紙回収活動を通して、生徒が地域の方々と触れ合い、地域の方々も地域の中学生の様子を知るなど、学校と地域との結び付きを深める。</p> <p>○本年度も目標：30トン～40トン</p>	平成23年度回収実績：35トン	<p>平成24年12月16日(日) (古紙回収作業の地域への広報活動及び生徒による準備は、11月から開始した。)</p> <p><実績> 本年度の古紙回収作業の数値目標を30トン～40トンに設定し、活動に取り組んだ。地域への広報活動として、学校からの依頼文書を自治会で回覧してもらっただけでなく、生徒が古紙回収への協力依頼のチラシを自宅近隣のお宅へ配布し、資源回収・再利用への意識を啓発するようにした。 本年度の回収実績は約29トンであり、目標数値には届けなかったが、生徒は意欲的に活動することができた。 取組を通して、地域の方々と触れ合いながら結び付きをつかめていくこと、また、資源の再利用など環境へ配慮した生活を心掛けていくことへの意識の高まりが見られた。</p>
島田第二中	古紙・アルミ缶回収	古紙回収 50トン アルミ缶回収 200kg	古紙回収 34トン アルミ缶 130kg	<p>平成24年4月1日～平成25年3月31日</p> <p><実績> 1 日常の取り組み：校長や教頭から節電を呼びかけ、外出時や昼休みの消灯を全校で取り組んだ。その他にも、夏や冬の時期でも、朝から生徒下校時までの特別教室のエアコンを原則不使用。常に設定温度が掲示され、横に温度計が置かれている。その他の暖房設備も生徒や教職員は喘息使っていない。車椅子や足の不自由な生徒が常時4～5人いるが、使用する時のみエレベーターの電源を入れている。全クラスに塗り箸を置き、昼食では割り箸を禁止。用紙の裏面活用、ファイルの再利用、使用済み封筒の再利用、忘れ傘の再利用などリユースの日常化。雨水を溜めて消毒し、トイレやグラウンドへの散水に利用する施設になっている。貯水量は設計上約200tで、教職員トイレは全てセンサーで水道を自動停止し、校舎1階ではグリーンカーテンを栽培した。 2 生徒会の取り組み：エコ専門委員会では、各クラスにリサイクルボックスを置き古紙回収を行っている。福祉専門委員会は、アルミ缶の回収、エコキャップ運動等、積極的に活動している。給食専門委員会では、食べきりメニューを実施し、給食残量が西調理場では一番少ない等の成果が表れている。 3 P T A主催古紙回収を平成24年12月9日(日)に実施。新聞紙18,220kg、ダンボール3,040kg、雑誌2,807kg(合計21,870kg)。その他にアルミ缶114kg 4 化学物質の適正管理、法令等の遵守：理科教員が市から指示があった管理表を作成し、管理職の点検を受け管理している。P C Bの管理の適正化。 5 環境教育の推進：11月22日(木)に動物写真家の小原裕さんを講師にお呼びし、地球温暖化についての講演会を、生徒全員と保護者総計900人の参加で実施した。理科、社会、家庭科などでも環境教育に取り組んでいる。</p>
六合中	古紙回収	地球にやさしい環境づくりの取り組みとして、資源節約のためのリサイクル運動に寄与する。 目標＝段ボール・新聞・雑誌を総計120トン回収。	平成23年度実績計 114,770kg(約115トン) 内訳 段ボール1,428kg 新聞 7,242kg 雑誌2,807kg	<p>実施日：平成24年11月4日(日)<実績>段ボール 15,320kg 新聞 70,250kg 雑誌 31,050kg 計 116,620kg(約117トン)</p> <p>地球にやさしい環境づくりの取組として、生徒会とP T Aの共催で古紙回収を実施した。事前に全校生徒が六合地区の各家庭に回収への協力を依頼した。当日はP T A健全育成部を中心に保護者と全校生徒が率先して回収にあたり、上記のような成果に結びつけた。回収量は昨年度実績114,770kg(約115トン)をやや上回ることができた。</p>
北中	紙の節約	裏紙の再利用に意識して取り組む。目標は10,000枚	事務職員を中心に取り組んできた。昨年は5,000枚程度。	<p>紙の節約として、裏面の再利用に意識して取り組む。目標はA4～B4まで10,000枚である。年間を通じて取り組む。</p> <p><実績> 事務職員を中心に、全職員で取り組み、10,000枚を上回ることができた。</p>
初倉中	使用電力量	使用電力量をH22比15%現と目標設定 H22 95,611kwh 実績 H23 81,269kwh 目標	H23 89,340kwh (H22比 93.4%、6.6%減)	H24.4～H25.3 <実績> 使用電力量89,568kwh (H22比 6.3%)
金谷中	・校内に古紙回収場所を作り、段ボールや古紙、古雑誌などの収集を行っている。 ・再利用紙(片面を使用し終えた紙)の使用促進を行っている。	古紙回収を行ったり再利用紙を使用することで、木材の無駄な伐採を防ぐ。	・古紙回収は順調に進んでいる。 ・再利用紙は利用率があまり高くない。	平成24年度1年間 <実績> ・古紙回収は順調に進んだ。古紙以外にも、アルミ缶、エコキャップ、ベルマークの回収も行った。 ・再利用紙の利用も前年度に比べて多くなってきた。
川根中	資源回収(P T Aで地域への協力を呼びかけ、生徒も手伝って、新聞紙、本、アルミ缶、瓶などの資源を回収する。)	限りある資源を節約し、リサイクルに寄与すると共に、環境を守る意識を高めることを目的とする。毎年、昨年度の実績を上回ることを目標に実施する。	昨年度実績(収益金) 481,275円 本年度は第1回を実施済み。	年間3回(4月22日、8月5日、12月9日) <実績> 資源回収による収益金 387,716円

(4) 平成24年度から25年度の実績

平成25年度も昨年度に引き続き、平成22年度比15%減を目指した「節電」、「市民及び地域への働きかけ」を重点的な取組として全庁で取り組んでいます。特に各所属での独自取組では、なるべく外部へ働きかける取組を設定し、市域全体を含めた取組ができるよう目指しています。そのうち、いくつかの取組例をご紹介します。

くらし・いきいきフェア

H24.10.13



15の市民団体から成る実行委員が運営し、展示・体験を通して、環境・食・防災・交通安全・消費者トラブルなど、日頃の生活に役立つ様々な情報を発信しました。438人の来場者がありました。(市民安心課)

本庁舎照明のLED化



本庁舎の照明を計画的に蛍光灯からLEDへ移行しています。平成25年度は全体の45%がLEDとなりました。平成26年度までに100%とする予定です(管財課)。

田代環境プラザ施設見学



ごみ焼却施設である田代環境プラザでは、随時施設見学を受け付けています。平成24年度は学校関係20団体を含む全81団体1,630人が見学に訪れました。視察や見学を通してごみ減量の啓発やごみ処理についての理解・協力を図っています。(田代環境プラザ)

地球を守る子ども科学実験隊

H25. 5～H25. 8



子どもたちに、科学を通して環境問題への関心を深めてもらおうと、元東海大学海洋学部教授の中山隆雄氏を講師に招き、「始めよう！ 地球を守る小さなアクション」をテーマに公民館主催の学習活動の一環として教室を全4回開催しました。参加した児童たちは、真剣に話を聞き、楽しみながら実験を行いました。

(金谷公民館 みんなくる)

中学生料理バトル

H25. 8. 1



市内の中学生 12 チーム 48 名が参加し、地産地消の給食献立のアイデアや腕前を競いました。見た目と味付けの工夫や、栄養価などについて審査され、優秀な献立は実際に学校給食に採用されます。

(学校教育課)

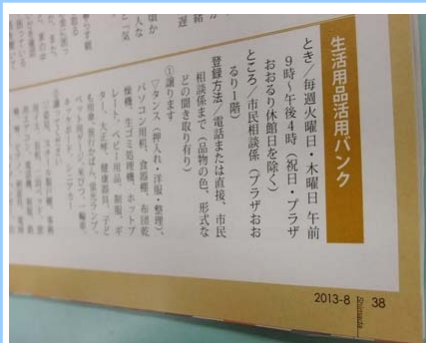
親と子の下水道教室

H25. 8. 2



公共下水道の普及、PR活動の一環として、夏休みを利用した親子のふれあいの場として「下水道教室」を開催し、親子で楽しく学び、下水道に対する意識の高揚を図りました。また、浄化センターを訪れた方や、下水道教室の出席者等に下水処理水を再利用したビオトープを見学していただいています。(下水道課)

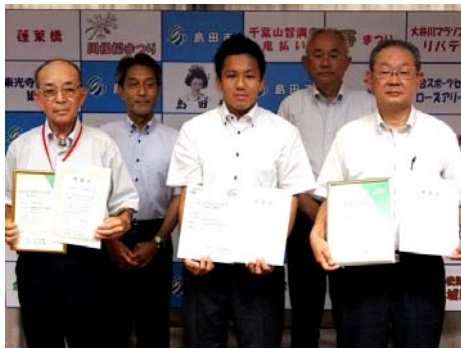
生活用品活用バンク



生活用品活用バンクを開設し、不要なものを欲しい人に譲る窓口となっています。平成 24 年度は 133 件成立しました。毎月広報でも掲載しています。(市民安心課)

エコアクション21自治体イニシャティブプログラム

H25.8～H26.2



一般社団法人静岡県環境資源協会から講師を招き、市内の事業者を対象にエコアクション21の取組についての説明会・セミナーを開催しました。平成25年8月末時点で67事業者がエコアクション21を認証登録しており、その内45事業所が当セミナーを受講しています。また、平成24年度において認証・登録をした事業者へ感謝状を贈呈しました。(環境課)

市政出前講座 ふれあいしまだ塾 ～地球温暖化と私たちの暮らし～

H25.9.12



ふれあいしまだ塾は自治会や事業所、学校など指定の場所に出向き無料で開催する出前講座です。今回は金谷公民館から申込みを受け、静岡県地球温暖化防止活動推進員と共にもみじ学級の方へ温暖化防止についての講座を開催し、環境意識の高揚を図りました。(金谷公民館 みんなくろく・環境課)

給食残さず食べさせ隊



給食をつくる人、食べる人の距離を縮め、少しでも給食を残さず食べようという気持ちを持ってもらえるよう、子ども達とのふれあいの場面をつくろうと学校行事やイベントに参加しています。給食で出た残飯や野菜くずで作った堆肥、廃油で作った廃油石鹸、裏紙で作ったメモ帳などを配布し環境への意識の向上を図っています。(学校教育課 学校給食共同調理場)

環境学習講座

H25.9～H25.11



地域で活動するエコリーダーの育成を目的として、eco検定(環境社会検定試験)の公式テキストを使用し、環境問題を基礎から幅広く学ぶ全8回の環境学習講座を開催しています。(環境課)

環境トピックス②

市で取り組んでいる取組、補助金について紹介します！（実績は平成24年度分）

○剪定樹木(腐葉土)や生ごみの堆肥化 《 田代環境プラザ 》

市民などから搬入された選定枝や生ごみを堆肥化し、ごみの処理量を削減しています。

製造実績：腐葉土(10kg)・・・3,203袋/年

生ごみ堆肥(10kg)・・・1,080袋/年



○使用済植物性食用油の回収及びバイオディーゼル燃料(BDF)の使用 《 旧清掃センター 》

市内10箇所に回収ボックスを設置し、ごみ収集車の燃料として再利用しています。

実績：回収 6,900リットル 使用 125リットル



○ごみ焼却施設から排出される溶融スラグの有効利用活用 《 公共事業担当課 》

田代環境プラザから排出される溶融スラグを道路や駐車場の工事に使用し、有効利用しています。

実績：全36工事 約594t使用



○補助金や奨励金の交付

→ 環境保全のため、各補助事業等を実施しています。

① 合併浄化槽購入費補助金(水質の維持) 《 下水道課 》

実績：405件 補助金交付金額 137,359,000円

② 雨水浸透施設設置費補助金(水資源の保全) 《 都市計画課 》

実績：9基 補助金交付金額 270,000円

③ 生ごみ処理容器等購入費補助金(ごみ減量対策) 《 環境課 》

実績：コンポスト 10基 生ごみ処理機 31基 補助金交付金額 755,300円

④ 古紙等資源集団回収奨励金(資源類の再利用) 《 環境課 》

実績：古紙 2,109,734kg 紙パック 730kg アルミ缶 70,163kg

奨励金交付金額 8,792,671円

⑤ 生け垣づくり補助金(CO₂削減・防音) 《 市街地整備課 》

実績：16件 補助交付金額 957,767円

⑥ 緑化推進事業補助金(CO₂削減) 《 市街地整備課 》

実績：6団体 補助金交付金額 700,000円

⑦ 島田市住宅用太陽光発電システム設置事業費補助金(CO₂削減) 《 環境課 》

実績：374件 補助金交付金額 20,825,000円

⑧ 間伐材搬出奨励補助金(森林保全整備) 《 農政課 》

実績：1,331m³ 補助金交付金額 3,993,000円

5. 教育・訓練の実施

「島田市環境基本計画」、「島田市地球温暖化対策実行計画」の進行管理、環境管理システム（エコアクション21）の周知・運用のため、会議・研修会を開催しています。

（1）会議・研修会

開催日	会議等名称または取組	内容
平成24年5月22日	第1回環境管理推進員研修会	①実行計画に係る監視及び測定について ②ノーカーデー実施結果の入力について ③グリーン購入について ④エコアクション21について
平成24年7月25日	学校事務員職員研修会	①実行計画に係る監視及び測定について ②ノーカーデー実施結果の入力について ③グリーン購入について ④エコアクション21について
平成24年10月10日	環境監査員研修会	平成24年度内部環境監査の実施について
平成24年11月29日	第2回環境管理推進員研修会	①エコアクション21更新審査について ②平成23年度温室効果ガス排出量の算定について
平成25年3月15日	環境施策講習会 (新規採用職員を対象)	島田市環境基本計画、島田市地球温暖化対策実行計画及びエコアクション21について

（2）内部監査

開催日	会議等名称	内容
平成24年11月1日 平成24年11月2日 平成24年11月7日	内部環境監査	①実行計画に係る監視及び測定結果の増減結果の入力状況について ②エネルギー使用量の増減理由について ③各課の独自取組実施状況について ④グリーン購入実施状況について ⑤ノーカーデー実施状況について

内部環境監査における指摘事項等

●概ね良好な運用であったが、各課独自の環境取組実施状況票について、課長・課員への報告が不十分な部署や、外部へ向けた取組が設定されていない部署が見受けられた。

以下は、高評価とされた事項

- 電子入札を促進するため、説明会等で制度を周知させた。(契約検査課)
- 口座振込払通知書が同一者に対して複数枚ある場合については、封書に同封する。また、近隣

事業所や行政関係機関には直接持参や文書箱経由で対応した。(出納室)

- 図書館の web 予約の推進により、申請用紙の消費を削減させる。図書館カードをリライトカードに変更し、貸出レシートを削減させる。(島田図書館)
- 夏季はエアコンの使用を控え、正午近くまでは扇風機で対応した。グリーンカーテンを実施し、種や苗を来庁舎に配布するなど、市民に対する啓発にも努めた。(川根支所)
- 施設電気使用量の削減について、グループ・団体の利用者へ周知を行い、貸出簿やスイッチに表示した。また、3師会の事務局への周知を徹底している。(健康づくり課)
- 大会でのごみの減量・分別を実行委員会等で呼びかけた。プログラムなどを作る際にも、ごみ減量の一文を入れるようお願いした。(スポーツ課)

(3) 情報発信による啓発活動

環境に関することについての情報を載せた「環境通信『えこにゅ』(Ecology News)」を庁内グループウェア掲示版で発信し、職員への啓発を行いました。

第 10 号：エコアクション21 認証取得範囲拡大・平成 23 年度グリーン購入の取組結果

第 11 号：節電・ライトダウンのお願い

第 12 号：グリーン購入の取組結果(4～6月)・エコアクション21 更新審査

第 13 号：施設毎の電気使用量(報告)

第 14 号：エコアクション21 更新審査日について

第 15 号：施設毎の電気使用量(報告)

第 16 号：グリーン購入の取組結果(7～9月)

第 17 号：エコドライブ推進月間

第 18 号：冬の節電について・施設毎の電気使用量(報告)

第 19 号：グリーン購入の取組結果(10～12月)

第 20 号：ふじのくにエコチャレンジBANK/ACTIONの受賞について

第 21 号：アース・キッズ事業エコ宣言テレビ放映のお知らせ

6. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

平成 24 年度中に法令違反や事故、異常事態の発生は報告されておりません。また、過去 3 年にわたって違反・訴訟もありませんでした。

遵守すべき環境関係の法律、条例、協定等の点検・評価結果

種別	法令等名称	関係分野	関係課	遵守状況
環境全般	・環境基本法	・環境施策全般の実施	全庁	○
	・循環型社会形成推進基本法	・循環型社会の構築	全庁	○
	・地球温暖化対策の推進に関する法律	・市役所における温暖化対策の策定・実施及び市民への働きかけ	全庁	○
資源循環関係	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	・廃棄物関連施策の実施 ・事務事業から排出される一般廃棄物の処理 ・事務事業から排出される産業廃棄物の処理	全庁 (管財課)	○
	・容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（容器包装リサイクル法）	・廃棄物関連施策の実施 ・事務事業から排出される廃棄物の処理	全庁	○
	・使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）	・公用車の廃車時の環境配慮 ・購入・入替・車検時のリサイクル券購入	管財課 ほか	○
	・資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）	・パソコン類の廃棄時の環境配慮	総務課 ほか	○
	・特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	・庁舎等における家電製品の廃棄、リサイクル券の購入（特定家電使用課）	特定家電 使用課	○
	・特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律（フロン回収破壊法）	・フロンを使用した業務用冷凍空調機器類の修理・撤去・入替時の環境配慮（大規模施設管理課）	管財課	○
	・国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）	・庁舎等における物品・サービスの購入・使用における環境配慮	全庁	○
	・建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	・地域における資材の再資源化の促進 ・公共事業における建設廃棄物の再資源化と再利用の促進	契約検査課 建設工事担当課	○
	・食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律（食品リサイクル法）	・食物残渣などのリサイクル	学校教育課	○
公害対策関係	・大気汚染防止法	・ボイラ等のばい煙発生装置(設備)の使用(スポーツ課(市民プール)、調理場)	スポーツ課 特定施設所有課	○
	・水質汚濁防止法	・し尿処理施設を設置する特定事業場からの排水の水質基準 下水道課(浄化センター)(コミプラ)、環境課(田代環境プラザ)	下水道課 環境課	○
	・騒音規制法	・騒音を発生する特定施設の設置・使用 ・騒音を発生する作業(工事)の実施	建設工事 担当課	○
	・振動規制法	・振動を発生する特定施設の設置・使用 ・振動を発生する作業(工事)の実施	建設工事 担当課	○
	・悪臭防止法	・悪臭を発生する特定施設の設置・使用 ・地域における悪臭の防止	環境課	○
	・静岡県生活環境の保全等に関する条例	・大気、水質、騒音、振動、悪臭等に関する規定・規制(特定施設の管理、都市計画区域外の公共工事など)	建設工事 担当課	○
化学物質危険物関係	・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)	・有機塩素系化合物など特定化学物質の排出管理	化学物質保有課 (管財課)	○

	・ダイオキシン類対策特別措置法	・ダイオキシンの排出抑制・管理（特定施設）	環境課	○
	・ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法（PCB特別措置法）	・PCBの適正な管理及び処理（処理計画の策定、県知事への届出）	管財課 PCB保有課	○
その他	・農薬取締法	・公園内樹木及びびらの丘公園内のバラの防除（市街地整備課（公園管理））	市街地整備課	○
	・農薬安全使用指針・農作物病害虫防除基準（県指針）			
	・消防法	・市有施設等における石油製品（重油、灯油、ガス等）の大量貯蔵（大規模施設、スポーツ施設）	施設保有課	○
	・危険物の規制に関する政令			
その他	・下水道法	・公共下水道事業の運営（下水道課） ・公共下水道への排水（公共下水道利用施設）	管財課 下水道課	○
	・浄化槽法	・浄化槽の保守・水質管理（浄化槽設置施設管理部署）	浄化槽管理課	○
	・エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）	・エネルギー管理指定を受けている公共施設におけるエネルギーの使用	環境課	○
	・静岡県地球温暖化防止条例	・相当程度多い温室効果ガスの排出をする特定事業者として温室効果ガス排出削減計画及び報告	環境課	○
市条例等	・島田市環境基本条例	・環境施策全般の実施	全庁	○
	・島田市環境管理委員会規則	・環境マネジメントシステムの運営	全庁 （環境課）	○
	・島田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	・廃棄物関連施策の実施	全庁 （環境課）	○
	・島田市ごみのない美しいまちづくり条例	・環境美化及び資源の再利用に関する活動の推進	全庁 （環境課）	○
	・島田市下水道条例	・下水道事業の管理・推進	下水道課	○
	・島田市住宅団地汚水処理条例	・コミュニティプラント事業の管理	下水道課	○

7. 環境に関する苦情の受付状況

平成24年度において、市の事務事業に起因する苦情の受付はありませんでした。市域で発生した住民からの苦情については下表のとおりとなっています。苦情の内訳では、野焼きによるばい煙（大気汚染）についての苦情が最も多く寄せられています。

市民から寄せられる公害苦情の内容は多種多様で、紛争に発展する場合もあるため、必要な調査を行い、また、関係法令の規制基準を示して、その解決に努めています。

（単位：件）

年度	大気	水質	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭	その他	合計
平成24年	28	7	0	5	1	0	5	0	46
平成23年	30	5	0	5	1	0	6	0	47
平成22年	27	7	1	5	0	0	8	0	48

8. 代表者による全体の評価

島田市では、平成21年1月に「エコアクション21」の認証を市役所本庁舎で取得した後、平成22年度から段階的に認証範囲を拡大し、平成24年度において、対象となる市の全ての施設について認証の取得を行いました。

また、平成23年度に策定を行った「島田市地球温暖化対策実行計画」では、「温室効果ガス排出量を、平成21年度を基準として平成27年度までに5%削減する」という目標値を設定し、日頃から市の全ての部署において、環境に対する取組を行っております。

今年度においても、昨年度と同様、平成22年度比で15%減を目標に、夏期電気使用量の削減に取り組んでおります。

さらに、エコアクション21については、各所属で独自の取組を設定し、目標達成のため取り組んでいます。こういった独自取組については、今後、市役所だけではなく、市域全体を含めた取組ができることを目指しております。

なお、当市では平成23年度と24年度の2ヶ年をかけ、「第2次島田市環境基本計画」を策定しました。20～30年度の望ましい環境像として掲げた「大井川が育む みどり豊かな自然と共生する 資源循環型のまち しまだ」の実現に向け、市民・事業者の皆様との連携・協働により、積極的な取組を進めてまいります。

今後も、市の全ての事務・事業において、エコアクション21、島田市地球温暖化対策実行計画、環境基本計画に基づく、環境に配慮した取組を継続して実施していくとともに、環境負荷低減のための様々な環境施策や環境に配慮した取組を推進してまいります。

平成25年11月

島田市長 染谷絹代



エコアクション21

認証・登録番号 0003251

※島田市役所は、平成21年1月20日に「エコアクション21」の認証・登録を受けています。

島田市エコアクション21環境活動レポート

平成25年11月20日

島田市生活環境部環境課（事務局）

島田庁舎

〒427-8501

静岡県島田市中心1番の1

事務局の所在地及び連絡先

〒427-0034

静岡県島田市伊太7番地

電話 0547-36-7145

E-Mail kankyo@city.shimada.shizuoka.jp